

東京基督教大学 神学部

2026 年度 学修の手引き (学士課程)

- 01_教育目標/ディプロマポリシー/カリキュラムポリシー
- 02_カリキュラムマップ
- 03_神学部教育課程(カリキュラム)の特徴
- 04_教育課程表
- 05_科目コード
- 06_単位/履修単位数
- 07_主専攻と副専攻
 - 07-1_教会教職 (主)
 - 07-2_グローバル・スタディーズ (主・副)
 - 07-3_ユース・スタディーズ (主・副)
 - 07-4_キリスト教福祉 (主・副)
 - 07-5_神学教養 (主)
 - 07-6_Japanese Studies (副)
 - 07-7_教会音楽 (副)
- 08_ユースプログラム主事認証
- 09_社会福祉主事任用資格
- 10_履修登録/履修制限
- 11_授業
- 12_試験/成績
- 13_卒業要件/学位
- 14_学籍
- 15_クリスチャンライフ・フォーメーション
- 16_器楽等レッスンの履修
- 17_単位認定(入学前修得・英語科目)
- 18_留学制度
- 19_教務部案内・証明書
- 20_TCU 学習における生成 AI 利用ガイドライン

東京基督教大学 神学部

教育目標・ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー

I. 教育目標

神学部は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。

II. ディプロマポリシー

神学部では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。

以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。

- 1 プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。
- 2 東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。
- 3 修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。
- 4 クリスチャンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。
- 5 神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。

III. カリキュラムポリシー

神学部では、「建学の精神」および「理念とミッション」に基づく「ディプロマポリシー」を達成し、福音的な聖書理解と幅広い神学的知識、さらには情熱を持って神と人に仕えるための実践力を身につけたクリスチャンを育成することを目指して、「TCU コア科目」、「キリスト教リベラルアーツ科目」、「言語科目」、「専門科目」、「統合科目」の科目群により教育課程を体系的に編成します。

また、学生が自らの興味や将来の目標に沿った学びを進めることができるように、幅広い神学科目の中から、より明確な将来像と結びついた複数の専攻（履修モデル）と副専攻を提供します。提供される専攻は以下のとおりです。

教会教職専攻

グローバル・スタディーズ専攻

ユース・スタディーズ専攻

キリスト教福祉専攻

神学教養専攻

以上のようなカリキュラムの構造を体系的に理解できるように教育課程表を提供し、さらに各科目、科目群で修得することが求められるディプロマポリシーを明示したカリキュラムマップを提供します。また、科目コードを用いることで科目の区分（科目群）と履修目安年次を明示します。

「教育内容」、「学修方法」、「評価」について以下のように定めます。

[1]教育内容

- a. クリスマンとして広く社会で活躍する人を育成するため、日本語と英語の両方で学ぶことのできるカリキュラムを提供します。
- b. 新生には、神学を概観できる科目に加え、大学という学習共同体の一体感や、キリスト教世界観を形成するために必要な実践的な学びの機会としてTCU コア科目を提供します。TCU コア科目の一つである「クリスマンライフ・フォーメーション」では、社会と教会に仕える実践力や協働力を身につけたクリスマンを育成するため、チャペル礼拝出席及び地域教会での礼拝出席を必修とし、さらに寮教育の機会を提供します。
- c. 人間と社会を理解するために必要なキリスト教リベラルアーツ科目として人文学、社会科学、Great Books、教会音楽の科目を提供します。
- d. 初年次の学生には、大学における学びに備えるための基礎的な学力の充実を主眼とする初年次教育科目を提供します。
- e. 言語科目では、日本語トラックの学生は英語を中心に、英語トラックの学生は日本語を中心に学びます。またグローバルな視点を養う諸言語を提供します。
- f. 神学の知識とその応用力を身につけるため、聖書学、組織神学・歴史神学、実践神学の科目、さらに聖書学を専門的に学ぶための言語科目として聖書原語科目を提供します。
- g. 異文化と他者への理解をもって神と人に仕える実践力を身につけたクリスマンを育成するため、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉等の専門科目を提供します。
- h. 3、4年生を対象に学びの実践と統合を目的とした演習（ゼミ）、実習（インターンシップ）、卒業研究等の統合科目を提供します。これらの統合科目を通してキャリア形成を行い、より明確な将来像と結びついた具体的な進路選択を促します。

[2]学修方法

- a. 学生と教員の距離を縮め、より能動的な学修参加を促すため、少人数クラスの編成を基本とします。
- b. 学生の能動的な学修参加と、他者との協働を促すため、授業の中で小グループ・ディスカッションや学生発表等のアクティブラーニングの諸方法を用いた学修の機会を提供します。
- c. すべての授業科目において授業時間外学修を課し、学生の学修成果を高めるようなフィードバックに努めます。
- d. 授業内容の改善に活かすために、学生による授業評価を実施します。

[3]評価

- a. シラバスに記載された到達目標に従って各科目の成績評価を行います。
- b. 卒業判定につながる学修成果の評価には、通常の科目成績評価に加え、DP ルーブリックに基づく学生の自己評価、教員との面談を含む他者評価、外部評価が総合的に用いられます。

カリキュラムマップ (ディプロマポリシーと科目の関係)

建学の精神	1. 福音主義 2. 超教派 3. 実践的神学教育 4. 世界宣教
教育目標	神学部は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。
ディプロマポリシー	神学部では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。 以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。
	DP1: プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。 DP2: 東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。 DP3: 修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。 DP4: クリスチャンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。 DP5: 神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。

科目区分	科目コード	科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
TCU Core	CTS110-130J	TCUスタンダード I 2 3	◎	◎		◎	◎	
	CCW110J	キリストと世界 I (神学)	◎	○	○			
	CCW120J	キリストと世界 II (旧約)	○	○	○			
	CCW130J	キリストと世界 III (新約)	○	○	○			
	CSD100J	霊的形成	○	○		○	○	
	CCF001J	クリスチャンライフ・フォーメーション 1	○	○		○	○	
	CCF002J	クリスチャンライフ・フォーメーション 2	○	○		○	○	
	CCF003J	クリスチャンライフ・フォーメーション 3	○	○		○	○	
	CCF004J	クリスチャンライフ・フォーメーション 4	○	○		○	○	
	CTS110-130E	TCU Standard I 2 3	◎	◎		◎	◎	
	CCW110E	Christ and the World I: Issues Facing the Church Today	◎	○	○			
	CCW120E	Christ and the World II: Issues Facing the Church through Time	○	○	○			
	CCW130E	Christ and the World III: Issues Facing Ancient Israel and the Early Church	○	○	○			
	CSD100E	Spiritual Development	○	○		○	○	
	CCF001E	Christian Life Formation 1	○	○		○	○	
	CCF002E	Christian Life Formation 2	○	○		○	○	
	CCF003E	Christian Life Formation 3	○	○		○	○	
	CCF004E	Christian Life Formation 4	○	○		○	○	
Christian Liberal Arts	First Year Education	RFY111J	基礎演習				○	
		RFY120J	情報リテラシー				○	
		RFY130J	キャリア教育				○	
		RFY110E	Academic Research and Writing				○	
	Humanities	RHU110J	人文学 I (文学)				○	
		RHU120J	人文学 II (西洋思想)				○	
		RHU230J	人文学 III (東洋思想)				○	
		RHU240J	人文学 IV (キリスト教倫理)				○	
		RHU350J	人文学 V (キリスト教哲学)				○	
		RHU210E	Humanities I: Survey of Western Philosophy				○	
	RHU220E	Humanities II: Christian Ethics				○		
	Social Sciences	RSS110J	社会科学 I (保育学)				○	
		RSS120J	社会科学 II (女性と社会)				○	
		RSS230J	社会科学 III (心理学)				○	
		RSS340J	社会科学 IV (リーダーシップと組織マネジメント)				○	
		RSS350J	社会科学 V (言語学)				○	
		RSS210E	Social Sciences I: General Psychology				○	
	RSS220E	Social Sciences II: Christian Education				○		
	Great Books	RGB110E	Great Books I: Western Philosophy				○	
		RGB120E	Great Books II: Japanese Literature				○	
		RGB230E	Great Books III: World Literature				○	
		RGB240E	Great Books IV: Social Sciences				○	
		RGB250E	Great Books V: Natural Sciences				○	
		RGB360E	Great Books VI: Sacred Books of the East				○	
		RGB370E	Great Books VII: Christian Classics				○	
	Church Music	RCM010J	教会音楽 I (ミュージックミニストリー)				○	○
		RCM220J	教会音楽 II (教会音楽の歴史)				○	○
		RCM330J	教会音楽 III (教会音楽の実際)				○	○
		RCM040J-	教会音楽 IV (クワイアI~4)				○	○
		RCM050J-	教会音楽 V (オルガンレッスンI~4)				○	○
RCM060J-		教会音楽 VI (ピアノレッスンI~4)				○	○	
RCM070J-		教会音楽 VII (声楽レッスンI~4)				○	○	
RCM080J-		教会音楽 VIII (ギターレッスンI~4)				○	○	
Sports Education	RSL110J	スポーツ・リベラルアーツ I				○		
	RSL120J	スポーツ・リベラルアーツ II				○		

建学の精神	1. 福音主義 2. 超教派 3. 実践的神学教育 4. 世界宣教
教育目標	神学部は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。
ディプロマポリシー	<p>神学部では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。</p> <p>以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。</p> <p>DP1：プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。 DP2：東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。 DP3：修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。 DP4：クリスチャンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。 DP5：神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。</p>

科目区分	科目コード	科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5		
Languages	English 英語	LEN111, 121, 131, 211, 221, 231J	Total English A 1-6				○		
		LEN112, 122, 132, 212, 222, 232J	Total English B 1-6				○		
		LEN310, 320, 330J	Total English C (TOEIC対策)				○		
		LEN250J	Pre-English Intensive Study Abroad				○		
		LEN260J	English Intensive Study Abroad				○		
	Korean 韓国語	LK0210J	韓国語 1 (基礎)				○		
		LK0220J	韓国語 2 (初級)				○		
		LK0330J	韓国語 3 (中級)				○		
	Chinese 中国語	LZH210J	中国語 1 (基礎と台湾文化入門)				○		
		LZH220J	中国語 2 (初級)				○		
	Japanese 日本語	LJA110-130E	Elementary Japanese Language and Culture 1-3				○		
		LJA210-230E	Intermediate Japanese Language and Culture 1-3				○		
		LJA310E	Advanced Japanese Language and Culture (Fall)				○		
		LJA320E	Advanced Japanese Language and Culture (Winter)				○		
		LJA330E	Advanced Japanese Language and Culture (Spring)				○		
		LJA350E	Japanese Extensive Reading and Listening (Fall)				○		
		LJA360E	Japanese Extensive Reading and Listening (Winter)				○		
		LJA370E	Japanese Extensive Reading and Listening (Spring)				○		
	Biblical Hebrew ヘブライ語	LJA281-283E	Mastering Kanji 1-3				○		
		LBH310J	ヘブライ語 1 (文法1)	○		○		○	
		LBH320J	ヘブライ語 2 (文法2)	○		○		○	
		LBH330J	ヘブライ語 3 (文法3)	○		○		○	
		LBH440J	ヘブライ語 4 (講読1)	○		○		○	
		LBH450J	ヘブライ語 5 (講読2)	○		○		○	
		Biblical Greek ギリシア語	LBG310J	ギリシア語 1 (文法1)	○		○		○
			LBG320J	ギリシア語 2 (文法2)	○		○		○
			LBG330J	ギリシア語 3 (文法3)	○		○		○
			LBG440J	ギリシア語 4 (講読1)	○		○		○
	LBG450J		ギリシア語 5 (講読2)	○		○		○	
	Specializations	Biblical Studies 聖書学	SBS210J	聖書学 I (旧約通論)	○	○	○		○
SBS320J			聖書学 II (福音書)	○	○	○		○	
SBS330J			聖書学 III (モーセ五書)	○	○	○		○	
SBS340J			聖書学 IV (預言書・聖文書)	○	○	○		○	
SBS350J			聖書学 V (書簡)	○	○	○		○	
SBS210E			Biblical Studies I: Old Testament Survey	○	○	○		○	
SBS220E			Biblical Studies II: New Testament Survey	○	○	○		○	
SBS430E			Biblical Studies III: Approaches to Biblical Interpretation	○	○	○		○	
SBS440E			Biblical Studies IV: Topics in Biblical Theology	○	○	○		○	
SBS450E			Biblical Studies V: Selected Biblical Books	○	○	○		○	
Christian History and Tradition 組織神学・歴史神学		SCH210J	組織神学 I (神論・人間論・キリスト論)	○	○	○		○	
		SCH220J	組織神学 II (救済論・教会論・終末論)	○	○	○		○	
		SCH230J	歴史神学 I (古代・中世)	○	○	○		○	
		SCH240J	歴史神学 II (宗教改革・近現代)	○	○	○		○	
		SCH350J	歴史神学 III (旧約聖書史/考古学)	○	○	○		○	
		SCH360J	歴史神学 IV (第二神殿時代史/考古学)	○	○	○		○	
		SCH470J	歴史神学 V (信条学)	○	○	○		○	
		SCH480J	歴史神学 VI (日本キリスト教通史)	○	○	○		○	
		SCH310E	Christian History and Tradition I: Ancient and Medieval Church History	○	○	○		○	
		SCH320E	Christian History and Tradition II: The Reformation and Modern Church History	○	○	○		○	
SCH330E	Christian History and Tradition III: The Heidelberg Catechism	○	○	○		○			
SCH340E	Christian History and Tradition IV: Science and Religion	○	○	○	○	○			
SCH450E	Christian History and Tradition V: Systematic Theology	○	○	○		○			
SCH460E	Christian History and Tradition VI: Japanese Church History	○	○	○		○			

建学の精神	1. 福音主義 2. 超教派 3. 実践的神学教育 4. 世界宣教
教育目標	神学部は、プロテスタント福音主義の理念に基づいたキリスト教世界観と召命観を持ち、教派を超えて教会と社会で、世界宣教の志を持って神と人に仕えるクリスチャンを養成することを教育の目標としています。そのために必要な人格と幅広い教養、神学に関する専門的な知識、主体的に考え行動する力の涵養に努めます。
ディプロマポリシー	<p>神学部では、所定の期間在学し、本学の「教育目標」に沿って設定された授業科目を履修して、基準となる単位を修得し、卒業判定に合格することが学位授与の要件となっています。学生のために準備された学びには、講義科目のほか、演習や実習、卒業研究等の科目に加え、寮教育や卒業チャペルでのスピーチが含まれます。</p> <p>以下の基準を満たしている者に学位が授与されます。</p> <p>DP1：プロテスタント福音主義の意義を主体的に把握している。 DP2：東京基督教大学の超教派の理念を肯定的に理解している。 DP3：修得科目にふさわしい神学の知識とその応用力を身につけている。 DP4：クリスチャンとして人と社会に仕える姿勢および幅広い教養とその実践力を備えている。 DP5：神と教会に仕える情熱と、そのために必要な知見を備えている。</p>

科目区分	科目コード	科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	
Practical Theology 実践神学	SPT210J	実践神学 I (宣教学)			○		○	
	SPT220J	実践神学 II (メッセージの方法と実践)			○		○	
	SPT330J	実践神学 III (説教学)			○		○	
	SPT440J	実践神学 IV (説教演習)			○		○	
	SPT450J	実践神学 V (礼拝学)			○		○	
	SPT460J	実践神学 VI (牧会学)			○		○	
	SPT470J	実践神学 VII (牧会カウンセリング)			○		○	
	SPT210E	Practical Theology I: Missiology			○		○	
	SPT220E	Practical Theology II: Public Speaking			○		○	
	SPT230E	Practical Theology III: Introduction to Christian Ministry in Japan			○		○	
	SPT340E	Practical Theology IV: Clinical and Pastoral Psychology			○		○	
	SPT350E	Practical Theology V: Christian Apologetics			○		○	
	SPT360E	Practical Theology VI: Philosophy and Theology of Music			○		○	
	Youth Studies ユース・スタディーズ	SYS210J	ユース・ミニストリー I (神学と実践)			○	○	
		SYS320J	ユース・ミニストリー II (思春期の理解)			○	○	
SYS230J		キリスト教教育 I (神学と理念)			○	○		
SYS340J		キリスト教教育 II (方法と実践)			○	○		
Christian Social Work キリスト教福祉	SCW201J	キリスト教福祉 I (高齢者福祉)				○		
	SCW202J	キリスト教福祉 II (キリスト教公共福祉)				○		
	SCW203J	キリスト教福祉 III (人間の尊厳とケア)				○		
	SCW204J	キリスト教福祉 IV (人間関係とコミュニケーション)				○		
	SCW205J	キリスト教福祉 V (こころとからだのしくみ)				○		
	SCW306J	キリスト教福祉 VI (生活支援技術)				○		
	SCW307J	キリスト教福祉 VII (障がいの理解)				○		
	SCW308J	キリスト教福祉 VIII (社会福祉概論)				○		
	SCW309J	キリスト教福祉 IX (ソーシャルワーク)				○		
	SCW311J	キリスト教福祉 X (児童福祉論)				○		
Global Studies グローバル・スタディーズ	SGS101J	グローバル・スタディーズ I (異文化理解)				○		
	SGS101E	Global Studies I: Intercultural Communication				○		
	SGS202J	グローバル・スタディーズ II (グローバル・スタディーズ入門)				○		
	SGS202E	Global Studies II: Introduction to Global Studies				○		
	SGS203J	グローバル・スタディーズ III (日本文化論)				○		
	SGS203E	Global Studies III: Japanese Arts and Aesthetics				○		
	SGS204J	グローバル・スタディーズ IV (アフリカ文化論)				○		
	SGS204E	Global Studies IV: Introduction to African Culture				○		
	SGS205E	Global Studies V: Crucial Issues in Asia				○		
	SGS306J	グローバル・スタディーズ VI (キリスト教と文化)				○		
	SGS307E	Global Studies VII: Religion and Society in Japan				○		
	SGS308J	グローバル・スタディーズ VIII (平和学)				○		
	SGS309E	Global Studies IX: International Development				○		
	SGS309J	グローバル・スタディーズ IX (国際協力論)				○		
	SGS310E	Global Studies X: Leadership, Management, and Organizational Culture in Japan				○		
	SGS311J	グローバル・スタディーズ XI (韓国文化論)				○		
Integrated Learning 統合	Seminars 演習	IMS310J	専門演習 (教会教職 1)			○	○	○
		IMS410J	専門演習 (教会教職 2)			○	○	○
		IMS320J/E	専門演習 (グローバル) / Major Seminar: Global Studies			○	○	○
		IMS330J	専門演習 (ユース)			○	○	○
		IMS340J	専門演習 (キリスト教福祉)			○	○	○
		IMS350J/E	専門演習 (神学教養) / Major Seminar: Christian Ministry			○	○	○
	Internships 実習	IIS310J/E	実習A (グローバル) / Internship A: Global Studies			○	○	○
		IIS320J/E	実習B (グローバル) / Internship B: Global Studies			○	○	○
		IIS330J/E	実習C (グローバル) / Internship C: Global Studies			○	○	○
		IIS341J	実習C (グローバル-韓国)			○	○	○
IIS350J		実習A (ユース)			○	○	○	
IIS420J		実習B (ユース)			○	○	○	
Graduation Project 卒研	IIS360J	実習A (福祉)			○	○	○	
	IIS210J/E	実習A (キャリア) / Internship A: Career			○	○	○	
Graduation Project 卒研	IGP401J/E	卒業研究A (個人) / Graduation Thesis			○	○	○	
	IGP402J/E	卒業研究B (協働) / Graduation Project			○	○	○	

神学部 教育課程（カリキュラム）の特徴

東京基督教大学神学部では、TCUコア科目とキリスト教世界観に基づくリベラルアーツ教育と語学教育を基礎として、5つの専攻（教会教職、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、神学教養）に緩やかに分かれての専門教育を行います。

1. TCUコア科目

TCUコア科目は「TCUスタンダード」、「キリストと世界」、「霊的形成」、「クリスチャンライフ・フォーメーション」です。「TCUスタンダード」では、TCUの建学の精神や歴史などの自校教育をはじめとして、キリスト教世界観の形成と大学教育の基本的スキルを身に着けることを目指して学びます。「キリストと世界」はⅠ(神学)、Ⅱ(旧約)、Ⅲ(新約)の3科目からなり、キリスト教世界観に基づいた神学の基礎を学びます。「霊的形成」は、キリスト者として豊かに生きることをトータルに扱います。「クリスチャンライフ・フォーメーション」では、チャペルや教会実習や寮教育まで本学でのクリスチャンライフ全体をふりかえる作業を行います。

2. キリスト教リベラルアーツ教育

リベラルアーツ (Liberal Arts) は、「自由人の学芸」を意味するラテン語 “*artes liberales*” の英語訳です。古代ギリシア・ローマでは、将来家庭、都市、国家を治めることになる自由人の男子に広い教養と専門的スキルを身につけさせました。キリスト教の伝統では、リベラルアーツは男女の区別なく、キリストの統治に参与する自由人の教養教育を指す言葉になりました。

本学では、キリスト教世界観に立った教養教育が行われます。なぜ教養教育がキリスト教世界観に立つことが求められるのでしょうか。キリスト教世界観は、“キリストが全世界と全ての民族の主であられること”に根拠を置きます。あらゆる真理探究は、キリストが治められる「全て」のどこかに係わっています。その意味で、信仰と学問の統合が要求されます。それは、信仰という基準で学問領域を見るというわけではありません。むしろ、神が全てを創造されたというキリスト教存在論的前提と、創造主なる神が一つひとつのものに意義を与えておられるという認識論的前提に立って、それぞれの学問領域に特有の方法論で真理を探究することが求められます。

キリスト教リベラルアーツの基盤をなす「初年次教育」として「基礎演習」「情報リテラシー」「キャリア教育」「Academic Research and Writing」が置かれています。「基礎演習」は、大学教育の導入とともに専攻教育の導入の役割も担っています。「情報リテラシー」では、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則って効果的に活用することを目指します。「キャリア教育」では、キリスト者として社会で働くことの職業観を考察し、また卒業後の進路を視野に入れながら、4年間の大学生活とキャリアプランを構築することを目指します。「Academic Research and Writing」は英語で学ぶための基礎をなすものです。

「初年次教育」に加えてキリスト教リベラルアーツの選択科目として「人文学」、「社会科学」、「グレー

トボックス」、「教会音楽」の4分野から満遍なく科目が提供されています。2年次以降に提供される教養科目は、神学と今日の問題の関連を意識させる、学際的な内容の科目が提供されています。

3. 言語教育

言語教育として、「英語」、「韓国語」、「中国語」、「日本語」、「ヘブライ語」、「ギリシア語」の6言語の科目が提供されます。日本語で学ぶ学生は「英語」を中心に、英語で学ぶ学生は「日本語」を中心に学びます。アジアの言語として「韓国語」と「中国語」、聖書学を専門的に学ぶため、特に教会教職を目指す学生に「ヘブライ語」「ギリシア語」の聖書原語科目が提供されます。

4. 専門科目

3年次以降は、5つの主専攻（教会教職、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、神学教養に分かれ、それぞれが定めるところの専門科目の履修が本格的に始まります。また副専攻（グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、教会音楽、Japanese Studies）の学びを並行することも可能です。また日本語トラックに所属していても英語により提供されている授業を履修することもできます。

5. 統合科目

3、4年生を対象に学びの実践と統合を目的とした演習・実習科目を設けています。また最終学年対象の卒業研究（個人・協働）を通して、学びのまとめに取り組むこともできます。

東京基督教大学 神学部 教育課程表 (2026年度)

科目区分	科目コード	科目名	必修	1年次入学指定	隔年	単位
TCU Core	CTS110J	TCUスタンダード 1	●			2
	CTS120J	TCUスタンダード 2	●			2
	CTS130J	TCUスタンダード 3	●			2
	CCW110J	キリストと世界 I (神学)	●			2
	CCW120J	キリストと世界 II (旧約)	●			2
	CCW130J	キリストと世界 III (新約)	●			2
	CSD100J	霊的形成	●			2
	CCF001J	クリスチャンライフ・フォーメーション 1	●			4
	CCF002J	クリスチャンライフ・フォーメーション 2	●			4
	CCF003J	クリスチャンライフ・フォーメーション 3		◎		4
	CCF004J	クリスチャンライフ・フォーメーション 4		◎		4
	CTS110E	TCU Standard 1	●			2
	CTS120E	TCU Standard 2	●			2
	CTS130E	TCU Standard 3	●			2
	CCW110E	Christ and the World I: Issues Facing the Church Today	●			2
	CCW120E	Christ and the World II: Issues Facing the Church through Time	●			2
	CCW130E	Christ and the World III: Issues Facing Ancient Israel and the Early Church	●			2
	CSD100E	Spiritual Development	●			2
	CCF001E	Christian Life Formation 1	●			4
	CCF002E	Christian Life Formation 2	●			4
CCF003E	Christian Life Formation 3		◎		4	
CCF004E	Christian Life Formation 4		◎		4	
First Year Education	RFY111J	基礎演習		◎		2
	RFY120J	情報リテラシー		◎		2
	RFY130J	キャリア教育		◎		2
	RFY110E	Academic Research and Writing		◎		2
Humanities	RHU110J	人文学 I (文学)				2
	RHU120J	人文学 II (西洋思想)			○	2
	RHU230J	人文学 III (東洋思想)				2
	RHU240J	人文学 IV (キリスト教倫理)			○	2
	RHU350J	人文学 V (キリスト教哲学)				2
	RHU210E	Humanities I: Survey of Western Philosophy			○	2
	RHU220E	Humanities II: Christian Ethics			○	2
	Social Sciences	RSS110J	社会科学 I (保育学)			
RSS120J		社会科学 II (女性と社会)				2
RSS230J		社会科学 III (心理学)				2
RSS340J		社会科学 IV (リーダーシップと組織マネジメント)				2
RSS350J		社会科学 V (言語学)			○	2
RSS210E		Social Sciences I: General Psychology			○	2
RSS220E	Social Sciences II: Christian Education			○	2	
Great Books	RGB110E	Great Books I: Western Philosophy				2
	RGB120E	Great Books II: Japanese Literature				2
	RGB230E	Great Books III: World Literature			○	2
	RGB240E	Great Books IV: Social Sciences			○	2
	RGB250E	Great Books V: Natural Sciences			○	2
	RGB360E	Great Books VI: Sacred Books of the East			○	2
	RGB370E	Great Books VII: Christian Classics			○	2
Church Music	RCM110J	教会音楽 I (ミュージックミニストリー)				2
	RCM220J	教会音楽 II (教会音楽の歴史)			○	2
	RCM330J	教会音楽 III (教会音楽の実際)			○	2
	RCM040J	教会音楽 IV (クワイア1~4)				2
	RCM050J	教会音楽 V (オルガンレッスン1~4)				2
	RCM060J	教会音楽 VI (ピアノレッスン1~4)				2
	RCM070J	教会音楽 VII (声楽レッスン1~4)				2
	RCM080J	教会音楽 VIII (ギターレッスン1~4)				2
Sports Education	RSL110J	スポーツ・リベラルアーツ I				2
	RSL120J	スポーツ・リベラルアーツ II				2

科目区分	科目コード	科目名	必修	1年次入学指定	隔年	単位	
English	LEN111J	Total English 1-A		◎		4	
	LEN112J	Total English 1-B		◎		4	
	LEN121J	Total English 2-A		◎		4	
	LEN122J	Total English 2-B		◎		4	
	LEN131J	Total English 3-A		◎		1	
	LEN132J	Total English 3-B		◎		1	
	LEN211J	Total English 4-A				4	
	LEN212J	Total English 4-B				4	
	LEN221J	Total English 5-A				4	
	LEN222J	Total English 5-B				4	
	LEN231J	Total English 6-A				1	
	LEN232J	Total English 6-B				1	
	LEN310J	Total English C (TOEIC対策 Spring)				2	
	LEN320J	Total English C (TOEIC対策 Fall)				2	
	LEN330J	Total English C (TOEIC対策 Winter)				2	
	LEN250J	Pre-English Intensive Study Abroad				1	
	LEN260J	English Intensive Study Abroad				4	
	Korean	LK0210J	韓国語 I (基礎)				2
		LK0220J	韓国語 2 (初級)				2
		LK0330J	韓国語 3 (中級)				2
Chinese	LZH210J	中国語 I (基礎と台湾文化入門)				2	
	LZH220J	中国語 2 (初級)				2	
Japanese	LJA110E	Elementary Japanese Language and Culture 1		◎		4	
	LJA120E	Elementary Japanese Language and Culture 2		◎		4	
	LJA130E	Elementary Japanese Language and Culture 3		◎		4	
	LJA210E	Intermediate Japanese Language and Culture 1				4	
	LJA220E	Intermediate Japanese Language and Culture 2				4	
	LJA230E	Intermediate Japanese Language and Culture 3				4	
	LJA310E	Advanced Japanese Language and Culture (Fall)				2	
	LJA320E	Advanced Japanese Language and Culture (Winter)				2	
	LJA330E	Advanced Japanese Language and Culture (Spring)				2	
	LJA350E	Japanese Extensive Reading and Listening (Fall)				2	
	LJA360E	Japanese Extensive Reading and Listening (Winter)				2	
	LJA370E	Japanese Extensive Reading and Listening (Spring)				2	
	LJA281E	Mastering Kanji 1				1	
	LJA282E	Mastering Kanji 2				1	
	LJA283E	Mastering Kanji 3				1	
Biblical Hebrew	LBH310J	ヘブライ語 I (文法1)				2	
	LBH320J	ヘブライ語 2 (文法2)				2	
	LBH330J	ヘブライ語 3 (文法3)				2	
	LBH440J	ヘブライ語 4 (講読1)				1	
	LBH450J	ヘブライ語 5 (講読2)				1	
Biblical Greek	LBG310J	ギリシア語 I (文法1)				2	
	LBG320J	ギリシア語 2 (文法2)				2	
	LBG330J	ギリシア語 3 (文法3)				2	
	LBG440J	ギリシア語 4 (講読1)				1	
	LBG450J	ギリシア語 5 (講読2)				1	


2026年度閉講 (隔年開講) / Not offered in 2026


閉講 / No longer offered

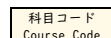
科目コード Course Code 主要授業科目 / Essential Subjects

科目区分	科目コード	科目名	必修	1年次入学指定	隔年	単位
Biblical Studies 聖書学	SBS210J	聖書学 I (旧約通論)				2
	SBS320J	聖書学 II (福音書)				2
	SBS330J	聖書学 III (モーセ五書)				2
	SBS340J	聖書学 IV (預言書・聖文書)				2
	SBS350J	聖書学 V (書簡)				2
	SBS210E	Biblical Studies I: Old Testament Survey			○	2
	SBS220E	Biblical Studies II: New Testament Survey			○	2
	SBS430E	Biblical Studies III: Approaches to Biblical Interpretation			○	2
	SBS440E	Biblical Studies IV: Topics in Biblical Theology			○	2
	SBS450E	Biblical Studies V: Selected Biblical Books				2
Christian History and Tradition 組織神学・歴史神学	SCH210J	組織神学 I (神論・人間論・キリスト論)				2
	SCH220J	組織神学 II (救済論・教会論・終末論)				2
	SCH230J	歴史神学 I (古代・中世)				2
	SCH240J	歴史神学 II (宗教改革・近現代)				2
	SCH350J	歴史神学 III (旧約聖書史/考古学)			○	2
	SCH360J	歴史神学 IV (第二神殿時代史/考古学)			○	2
	SCH470J	歴史神学 V (信条学)				2
	SCH480J	歴史神学 VI (日本キリスト教通史)				2
	SCH310E	Christian History and Tradition I: Ancient and Medieval Church History			○	2
	SCH320E	Christian History and Tradition II: The Reformation and Modern Church History			○	2
	SCH330E	Christian History and Tradition III: The Heidelberg Catechism			○	2
	SCH340E	Christian History and Tradition IV: Science and Religion			○	2
	SCH450E	Christian History and Tradition V: Systematic Theology			○	2
	SCH460E	Christian History and Tradition VI: Japanese Church History			○	2
Practical Theology 実践神学	SPT210J	実践神学 I (宣教学)				2
	SPT220J	実践神学 II (メッセージの方法と実践)				2
	SPT330J	実践神学 III (説教学)				2
	SPT440J	実践神学 IV (説教演習)				2
	SPT450J	実践神学 V (礼拝学)				2
	SPT460J	実践神学 VI (教会学)				2
	SPT470J	実践神学 VII (教会カウンセリング)				2
	SPT210E	Practical Theology I: Missiology			○	2
	SPT220E	Practical Theology II: Public Speaking			○	2
	SPT230E	Practical Theology III: Introduction to Christian Ministry in Japan			○	2
	SPT340E	Practical Theology IV: Clinical and Pastoral Psychology			○	2
	SPT350E	Practical Theology V: Christian Apologetics			○	2
	SPT360E	Practical Theology VI: Philosophy and Theology of Music			○	2
	Youth Studies ユース・スタディーズ	SYS210J	ユース・ミニストリー I (神学と実践)			
SYS320J		ユース・ミニストリー II (思春期の理解)				2
SYS230J		キリスト教教育 I (神学と理念)				2
SYS340J		キリスト教教育 II (方法と実践)				2
Christian Social Work キリスト教福祉	SCW201J	キリスト教福祉 I (高齢者福祉)				2
	SCW202J	キリスト教福祉 II (キリスト教公共福祉)				2
	SCW203J	キリスト教福祉 III (人間の尊厳とケア)				2
	SCW204J	キリスト教福祉 IV (人間関係とコミュニケーション)				2
	SCW205J	キリスト教福祉 V (こころとからだのしくみ)				2
	SCW306J	キリスト教福祉 VI (生活支援技術)				2
	SCW307J	キリスト教福祉 VII (障がいの理解)				2
	SCW308J	キリスト教福祉 VIII (社会福祉概論)				2
	SCW309J	キリスト教福祉 IX (ソーシャルワーク)				2
	SCW311J	キリスト教福祉 X (児童福祉論)				2

科目区分	科目コード	科目名	必修	1年次入学指定	隔年	単位	
Global Studies グローバル・スタディーズ	SGS101J	グローバル・スタディーズ I (異文化理解)				2	
	SGS101E	Global Studies I: Intercultural Communication		◎		2	
	SGS202J	グローバル・スタディーズ II (グローバル・スタディーズ入門)				2	
	SGS202E	Global Studies II: Introduction to Global Studies				2	
	SGS203J	グローバル・スタディーズ III (日本文化論)				3	
	SGS203E	Global Studies III: Japanese Arts and Aesthetics					
	SGS204J	グローバル・スタディーズ IV (アフリカ文化論)			○	2	
	SGS204E	Global Studies IV: Introduction to African Culture					
	SGS205E	Global Studies V: Crucial Issues in Asia			○	2	
	SGS306J	グローバル・スタディーズ VI (キリスト教と文化)				2	
	SGS307E	Global Studies VII: Religion and Society in Japan				3	
	SGS308J	グローバル・スタディーズ VIII (平和学)			○	2	
	SGS309E	Global Studies IX: International Development			○	2	
	SGS309J	グローバル・スタディーズ IX (国際協力論)			○	2	
	SGS310E	Global Studies X: Leadership, Management, and Organizational Culture in Japan			○	2	
	SGS311J	グローバル・スタディーズ XI (韓国文化論)				2	
SGS412E	Global Studies XII: Religion and Public Policy			○	2		
SGS413J	グローバル・スタディーズ XIII				2		
SGS414E	Global Studies XIV: TESOL			○	2		
SGS415J	グローバル・スタディーズ XV (日本語教育)			○	2		
SGS316E	Global Studies XVI: Japanese Culture and Society				3		
Seminars 演習	IMS310J	専門演習 (教会教職 1)				2	
	IMS410J	専門演習 (教会教職 2)				2	
	IMS320J/E	専門演習 (グローバル) / Major Seminar: Global Studies				2	
	IMS330J	専門演習 (ユース)				2	
	IMS340J	専門演習 (キリスト教福祉)				2	
	IMS350J/E	専門演習 (神学教養) / Major Seminar: Christian Ministry				2	
	Integrated Learning 統合 実習 Internships	IIS310J/E	実習A (グローバル) / Internship A: Global Studies				2
		IIS320J/E	実習B (グローバル) / Internship B: Global Studies				4
		IIS330J/E	実習C (グローバル) / Internship C: Global Studies				6
		IIS341J	実習C (グローバル-韓国)				6
IIS350J		実習A (ユース)				2	
IIS420J		実習B (ユース)				4	
IIS360J		実習A (福祉)				2	
IIS210J/E		実習A (キャリア) / Internship A: Career				2	
Graduation Project 卒研		IGP401J/E	卒業研究A (個人) / Graduation Thesis				6
		IGP402J/E	卒業研究B (協働) / Graduation Project				6

 2026年度閉講 (隔年開講) / Not offered in 2026

 閉講 / No longer offered

 科目コード
Course Code 主要授業科目 / Essential Subjects

科目コード

科目コード、科目名称の後につく記号には、以下に示す法則により区分、科目名、履修目安年次が読み取れます。また、科目の履修条件を見極めるためにも役立ちます。

例1

科目コード	科目名称
R F Y I O I J	基礎演習 A
① ② ③④⑤⑥	⑦

例2

科目コード	科目名称
I M S 3 3 0 J	専門演習 (ユースI)
① ② ③④⑤⑥	⑦

1. 科目コード

① 科目の区分 英語表記の省略形 (左端1桁のアルファベット)

C…TCU コア	R…キリスト教リベラルアーツ
L…言語	S…専門
I…統合	

② 科目の名称 英語表記の省略形 (左から2つ目と3つ目の2桁のアルファベット)

TS…TCU スタandard	CW…キリストと世界	
SD…霊的形成	CF…クリスチャンライフ・フォーメーション	
FY…初年次教育	HU…人文学	SS…社会科学
CM…教会音楽	SL…スポーツ・リベラルアーツ	GB…Great Books
EN…英語	KO…韓国語	ZH…中国語
JA…日本語	BH…ヘブライ語	BG…ギリシア語
BS…聖書学	CH…組織・歴史神学	PT…実践神学
YS…ユース・スタディーズ	CW…キリスト教福祉	GS…グローバル・スタディーズ
MS…専門演習	IS…実習	GP…卒業研究

※ 例外として単位認定科目を TRANS で表します。

③ 履修目安年次 (左から1つ目の数字)

1…第1年次 2…第2年次 3…第3年次 4…第4年次

④-1 科目の名称のうち、科目の並び順 (左から2つ目の数字1桁)

④-2 科目の名称のうち、専門演習の区分 (左から2つ目の数字1桁)

1…教会教職 2…グローバル 3…ユース 4…キリスト教福祉 5…神学教養

④⑤ 「キリスト教福祉」科目、「グローバル・スタディーズ」科目の区分内の並び順

(左から2つ目と3つ目の数字2桁)

⑤ 同一科目 (基礎演習、Total English) の履修クラスの識別 (左から3つ目の数字1桁)

1…A 2…B 3…C 4…D

⑥ 授業提供言語 (右端のアルファベット1文字)

J…日本語科目 E…英語科目

2. 科目名称の後につく記号 ⑦

アラビア数字: 1、2、3、4…履修順序あり (上記「例2」参照)

ローマ数字: I、II、III、IV…履修順序なし

アルファベット: A、B、C…クラス別 (上記「例1」参照)

単 位

単位制度と科目の種類

本学の科目はすべて単位制です。単位数は科目によって異なります。指定された期間に履修登録した科目の授業を受け、かつ所定の試験に合格すると、その科目に与えられている単位を修得できます。（学則第25条）。

授業科目は、「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」があります。（学則第23条）

必 修 科 目	本学で必ず修得すべき科目
選 択 科 目	必修科目以外の提供科目のうち卒業要件単位数にカウントされる科目
自 由 科 目	卒業要件単位数にカウントされない科目

単位の基準

授業科目の単位数は、1単位の履修時間を教室内(授業)および教室外(自習)を合わせて 45時間とし、次の基準で計算されます。（学則第24条）

単位計算の基準	
教室内の学習時間	教室外の学習時間
1週1時間の授業×15週=1単位	1時間の授業に対し、2時間

履修単位数

卒業までに取得すべき単位数は以下のとおりです。

1) 1年次入学

区分		単位数	科 目
必修	TCU コア	22	TCU スタンダードⅠ～Ⅲ、霊的形成、キリストと世界Ⅰ(神学)、Ⅱ(旧約)、Ⅲ(新約)、クリスチャンライフ・フォーメーションⅠ、Ⅱ
	1年次指定	23	基礎演習、情報リテラシー、キャリア教育、Total English Ⅰ～Ⅲ、クリスチャンライフ・フォーメーションⅢ、Ⅳ
	専攻	40	各専攻が指定する科目
選択	その他	39	個人が自由選択する科目 副専攻科目
卒業要件の履修単位数		124	※左記の履修単位数以上を習得すること

英語トラックでは必修科目区分、1年次指定区分の単位数が異なります。英語学修の手引き「ACADEMIC HANDBOOK」参照。

2) 2年次編入学

区 分		卒業要件 単位数	認定単位数 (最大 <u>30</u> 単位)	TCU で修得 すべき単位数	科 目
必修	TCU コア	22	0	22	TCU スタンダード I ~ 3、霊的形成、 キリストと世界 I (神学)、II (旧約)、III (新約)、 クリスチャンライフ・フォーメーション I、2
選択	1 年次指定	19	19	0	基礎演習、情報リテラシー、キャリア教育、 Total English I ~ 3、 クリスチャンライフ・フォーメーション 4
	2 年次指定	4	0	4	クリスチャンライフ・フォーメーション 3
	専攻	40	0	40	各専攻が指定する科目
	その他	39	11	28	個人が自由選択する科目 副専攻科目
小計		124	30	94	※左記の履修単位数以上を習得すること
計			124		

3) 3年次編入学

区 分		卒業要件 単位数	認定単位数 (最大 <u>60</u> 単位)	TCU で修得 すべき単位数	科 目
必修	TCU コア	22	0	22	TCU スタンダード I ~ 3、霊的形成、 キリストと世界 I (神学)、II (旧約)、III (新約)、 クリスチャンライフ・フォーメーション I、2
選択	1 年次指定	23	23	0	基礎演習、情報リテラシー、キャリア教育、 Total English I ~ 3、 クリスチャンライフ・フォーメーション 3、4
	専攻	40	0	40	各専攻が指定する科目
	その他	39	37	2	個人が自由選択する科目 副専攻科目
小計		124	60	64	※左記の履修単位数以上を習得すること
計			124		

主専攻と副専攻

3年次から専攻を選択します。

【主専攻】

教会教職、グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、神学教養

- ① 主専攻の修了要件単位は40単位。
- ② 主専攻を2つ選択することはできない。
- ③ 専攻指定の要件を満たした場合、専攻名を成績証明書に記載。

【副専攻】

グローバル・スタディーズ、ユース・スタディーズ、キリスト教福祉、教会音楽、Japanese Studies

- ① 副専攻の修了要件単位は16単位。
- ② 修了要件として個別科目の成績基準は設けないが、すべての科目の平均 GPA を 2.50 以上とする。
- ③ 主専攻と同一名称（グローバル・ユース・キリスト教福祉）の副専攻はとれない。
- ④ 主専攻と副専攻とで同一科目が指定されている場合、両方の要件としてカウントできるが、複数の副専攻で同一科目が指定されている場合は、両方の要件としてカウントできない。
- ⑤ 複数の副専攻修了を目指すことは可能だが、単年度内で履修可能な時間割は保証しない。
- ⑥ 副専攻要件を満たし、卒業前に所定の申請手続きをした場合、副専攻名を成績証明書に記載。

教会教職専攻

〈教育目標〉

教会教職者（牧師、宣教師、伝道師など）への召しに応え、福音主義に立脚した神学諸分野（聖書・組織・歴史・実践）を有機的に統合した学びに取り組む。個々の賜物と召しを重んじ、各教会・教団教派の特徴を尊びつつ、包括的福音の担い手を自覚する教会教職者の養成を目指す。

区分	科目コード	科目名	主専攻	
			指定	推奨
リベラルスアート教	RHU110J	人文学 I（文学）		2
	RHU120J	人文学 II（西洋思想）		2
	RHU230J	人文学 III（東洋思想）		2
	RHU240J	人文学 IV（キリスト教倫理）		2
	RHU350J	人文学 V（キリスト教哲学）		2
	RCM220J	教会音楽 II（教会音楽の歴史）		2
	RCM330J	教会音楽 III（教会音楽の実際）	2	
ヘブライ語	LBH310J	ヘブライ語 1（文法1）	2	
	LBH320J	ヘブライ語 2（文法2）	2	
	LBH330J	ヘブライ語 3（文法3）		2
	LBH440J	ヘブライ語 4（講読1）		1
	LBH450J	ヘブライ語 5（講読2）		1
ギリシア語	LBG310J	ギリシア語 1（文法1）	2	
	LBG320J	ギリシア語 2（文法2）	2	
	LBG330J	ギリシア語 3（文法3）		2
	LBG440J	ギリシア語 4（講読1）		1
	LBG450J	ギリシア語 5（講読2）		1
聖書学	SBS210J	聖書学 I（旧約通論）	2	
	SBS320J	聖書学 II（福音書）	2	
	SBS330J	聖書学 III（モーセ五書）		2
	SBS340J	聖書学 IV（預言書・聖文書）		2
	SBS350J	聖書学 V（書簡）	2	
組織神学・歴史神学	SCH210J	組織神学 I（神論・人間論・キリスト論）	2	
	SCH220J	組織神学 II（救済論・教会論・終末論）	2	
	SCH230J	歴史神学 I（古代・中世）	2	
	SCH240J	歴史神学 II（宗教改革・近現代）	2	
	SCH350J	歴史神学 III（旧約聖書史/考古学）		2
	SCH360J	歴史神学 IV（第二神殿時代史/考古学）		2
	SCH470J	歴史神学 V（信条学）		2
	SCH480J	歴史神学 VI（日本キリスト教通史）	2	
実践神学	SPT210J	実践神学 I（宣教学）	2	
	SPT220J	実践神学 II（メッセージの方法と実践）		2
	SPT330J	実践神学 III（説教学）	2	
	SPT440J	実践神学 IV（説教演習）	2	
	SPT450J	実践神学 V（礼拝学）	2	
	SPT460J	実践神学 VI（牧会学）	2	
	SPT470J	実践神学 VII（牧会カウンセリング）		2
グローバル	SGS101J	グローバル・スタディーズ I（異文化理解）		2
キリスト教福祉	SCW308J	キリスト教福祉 VIII（社会福祉概論） 旧：(社会福祉論)		2
統合	IMS310J	専門演習（教会教職 1）	2	
	IMS410J	専門演習（教会教職 2）	2	
指定科目・推奨科目 単位数 計			40	38

グローバル・スタディーズ専攻 (主・副)

〈教育目標〉

世界の痛みのあるところに神の愛と平和をもたらすために、異文化の人々と協働することのできる実践的な力を持った人を育成する。
国内外の社会問題について多様な視点から分析し、創造的に発想しながら問題解決に向けて自ら行動できる力を養う。

Major/Minor in Global Studies

〈Educational goal〉

This major seeks to nurture the practical ability in students to collaborate with people of different cultures to spread God's love and peace to hurting areas of the world. It seeks to develop the ability to take initiative and action in considering social problems in and outside Japan at various levels, and to creatively work towards solutions.

科目 区分	科目コード Course Code	科目名 Courses	主専攻 Major		副専攻 Minor		隔年開講 Biennial
			指定 Designated	選択 Elective	指定 Designated	選択 Elective	
Language 言語	LEN211-2J	Total English 4 (A/B)		4		4	
	LEN221-2J	Total English 5 (A/B)		4		4	
	LEN231-2J	Total English 6 (A/B)		1		1	
	LEN310J	Total English C (TOEIC対策 Spring)		2		2	
	LEN320J	Total English C (TOEIC対策 Fall)		2		2	
	LEN330J	Total English C (TOEIC対策 Winter)		2		2	
	LEN250J	Pre-English Intensive Study Abroad		1			
	LEN260J	English Intensive Study Abroad		4		4	
	LK0210J	韓国語 1 (基礎)		2		2	
	LK0220J	韓国語 2 (初級)		2		2	
	LK0330J	韓国語 3 (中級)		2		2	
	LZH210J	中国語 1 (基礎と台湾文化入門)		2		2	
	LZH220J	中国語 2 (初級)		2		2	
	LBH310J	ヘブライ語 1 (文法1)		2		2	
	LBH320J	ヘブライ語 2 (文法2)		2		2	
	LBH330J	ヘブライ語 3 (文法3)		2		2	
	LBH440J	ヘブライ語 4 (講読1)		1		1	
	LBH450J	ヘブライ語 5 (講読2)		1		1	
	LBG310J	ギリシア語 1 (文法1)		2		2	
	LBG320J	ギリシア語 2 (文法2)		2		2	
	LBG330J	ギリシア語 3 (文法3)		2		2	
	LBG440J	ギリシア語 4 (講読1)		1		1	
	LBG450J	ギリシア語 5 (講読2)		1		1	
	LJA210E	Intermediate Japanese Language and Culture 1		4			
	LJA220E	Intermediate Japanese Language and Culture 2		4			
	LJA230E	Intermediate Japanese Language and Culture 3		4			
	LJA310E	Advanced Japanese Language and Culture (Fall)		2		2	
	LJA320E	Advanced Japanese Language and Culture (Winter)		2		2	
	LJA330E	Advanced Japanese Language and Culture (Spring)		2		2	
	LJA350E	Japanese Extensive Reading and Listening (Fall)		2		2	
	LJA360E	Japanese Extensive Reading and Listening (Winter)		2		2	
	LJA370E	Japanese Extensive Reading and Listening (Spring)		2		2	
	LJA281E	Mastering Kanji 1		1			
	LJA282E	Mastering Kanji 2		1			
	LJA283E	Mastering Kanji 3		1			
RFY110E	Academic Research and Writing ※ Japanese track student only		2				
		「言語」区分から		10		4	
Global Studies グローバル	SGS101J	グローバル・スタディーズ I (異文化理解)		2		2	
	SGS101E	Global Studies I: Intercultural Communication					
	SGS202J	グローバル・スタディーズ II (グローバル・スタディーズ入門)		2		2	
	SGS202E	Global Studies II: Introduction to Global Studies					
	SGS203J	グローバル・スタディーズ III (日本文化論)					
	SGS203E	Global Studies III: Japanese Arts and Aesthetics			3		3
	SGS204J	グローバル・スタディーズ IV (アフリカ文化論)					
	SGS204E	Global Studies IV: Introduction to African Culture			2		2 ●
	SGS306J	グローバル・スタディーズ VI (キリスト教と文化)					
	SGS306E	Global Studies VI: Religion and Society in Japan			2		2 ●
	SGS307E	Global Studies VII: Religion and Society in Japan			3		3 ●
	SGS308J	グローバル・スタディーズ VIII (平和学)					
	SGS308E	Global Studies VIII: International Development			2		2 ●
	SGS309J	グローバル・スタディーズ IX (国際協力論)					
	SGS309E	Global Studies IX: International Development			2		2 ●
SGS310E	Global Studies X: Leadership, Management, and Organizational Culture in Japan (Former course name: Japan Encounters the West)			2		2 ●	
SGS311J	グローバル・スタディーズ XI (韓国文化論)						
SGS311E	Global Studies XI: Korean Culture and Society			2		2 ●	
SGS414E	Global Studies XIV: TESOL						
SGS414E	Global Studies XIV: TESOL			3		3 ●	
SGS316E	Global Studies XVI: Japanese Culture and Society						
		「グローバル」区分から	4	10	4	6	
Humanities / Great Books / Christian History and Tradition 人文・G・B・歴史神学・実践神学	RHU120J	人文学 II (西洋思想)		2			●
	RHU230J	人文学 III (東洋思想)		2			●
	RHU240J	人文学 IV (キリスト教倫理)		2			●
	RSS340J	社会科学 IV (リーダーシップと組織マネジメント) 旧:グローバル・スタディーズ XIII		2		2	
	RHU210E	Humanities I: Survey of Western Philosophy		2			●
	RHU220E	Humanities II: Christian Ethics		2			●
	RGB110E	Great Books I: Western Philosophy		2			●
	RGB120E	Great Books II: Japanese Literature		2			●
	RGB230E	Great Books III: World Literature		2			●
	RGB240E	Great Books IV: Social Sciences		2			●
	RGB250E	Great Books V: Natural Sciences		2			●
	RGB370E	Great Books VII: Christian Classics		2			●
	SCH230J	歴史神学 I (古代・中世)		2			●
	SCH240J	歴史神学 II (宗教改革・近現代)		2			●
	SCH480J	歴史神学 VI (日本キリスト教通史)		2			●
	SCH310E	Christian History and Tradition I: Ancient and Medieval Church History		2			●
	SCH320E	Christian History and Tradition II: The Reformation and Modern Church History		2			●
	SCH460E	Christian History and Tradition VI: Japanese Church History		2			●
SPT210J	実践神学 I (宣教学)		2			●	
SPT210E	Practical Theology I: Missiology		2			●	
		「人文・G・B・歴史神学・実践神学」区分から		8			
Integrated 統合	IMS320J/E	専門演習 (グローバル) / Major Seminar: Global Studies		2		2	
	IIS310J/E	実習A (グローバル) / Internship A: Global Studies		2		2	
	IIS320J/E	実習B (グローバル) / Internship B: Global Studies		4		4	
	IIS330J/E	実習C (グローバル) / Internship C: Global Studies		6		6	
	IIS341J	実習C (グローバル-韓国)		6		6	
	IGP401J/E	卒業研究A (個人) / Graduation Thesis		6			
	IGP402J/E	卒業研究B (協働) / Graduation Project		6			
		「統合」区分から	2	6	2		
		指定科目・選択科目 単位数 計	6	34	6	10	
		主専攻・副専攻 単位数 計	40		16		

* LEN211J, LEN250J, LEN260J, and RFY110E don't fulfill the major requirements for English track students.
* Japanese Language科目は日本語トラック生は対象外です。

ユース・スタディーズ主専攻

〈教育目標〉

ユース（思春期の若者）の文化、および心理的・社会的発達の過程や課題を理解し、彼らの全人格的な成長を促し支えるリーダーシップを養うことを目指す。また、聖書の言葉をユースの実践的問題解決につなげるために神学する力を養う。

科目区分	科目コード	科目名	科目単位数	主専攻		副専攻
				指定	選択	指定
キリスト教リベラルアーツ	RSS230J	社会科学 III (心理学)	2	2		2
	RCM110J	教会音楽 I (ミュージックミニストリー)	2	2		
ユース	SYS210J	ユース・ミニストリー I (神学と実践)	2	2		2
	SYS320J	ユース・ミニストリー II (思春期の理解)	2	2		2
	SYS230J	キリスト教教育 I (神学と理念)	2	2		2
	SYS340J	キリスト教教育 II (方法と実践)	2	2		2
実践神学	SPT210J	実践神学 I (宣教学)	2	2		
	SPT220J	実践神学 II (メッセージの方法と実践)	2	2		
統合	IMS330J	専門演習 (ユース)	2	※1 4		※1 4
	IIS350J	実習A (ユース)	2	※2 4		※2 2
	IIS420J	実習B (ユース)	4			
	IGT401J/E	卒業研究A (個人)	6	6		
聖書学	SBS210J	聖書学 I (旧約通論)	2		2	
	SBS320J	聖書学 II (福音書)	2		2	
	SBS330J	聖書学 III (モーセ五書)	2		2	
	SBS340J	聖書学 IV (預言書・聖文書)	2		2	
	SBS350J	聖書学 V (書簡)	2		2	
組織神学・歴史神学	SCH210J	組織神学 I (神論・人間論・キリスト論)	2		2	
	SCH220J	組織神学 II (救済論・教会論・終末論)	2		2	
	SCH230J	歴史神学 I (古代・中世)	2		2	
	SCH240J	歴史神学 II (宗教改革・近現代)	2		2	
	SCH350J	歴史神学 III (旧約聖書史/考古学)	2		2	
	SCH360J	歴史神学 IV (第二神殿時代史/考古学)	2		2	
	SCH470J	歴史神学 V (信条学)	2		2	
	SCH480J	歴史神学 VI (日本キリスト教通史)	2		2	
指定科目・選択科目 単位数 計				30	10	16
主専攻・副専攻 単位数 計				40		16

※1 同科目を2回履修(2単位×2回=4単位)

※2 「実習A(ユース)」、「実習B(ユース)」から主専攻、副専攻それぞれに必要な単位数を取得する。いずれの科目も複数回履修可能。

キリスト教福祉専攻（主・副）

〈教育目標〉

基礎的な聖書・神学の理解を土台に、キリスト教福祉の考え方と実践力を養う。特定の領域に縛られず、人々と共に生きる福祉や教会と福祉のあり方等のテーマを、介護・ソーシャルワーク双方から広く学び、将来のクリスチャン福祉ワーカーとしての働きに資するスピリット・知識と技術を培う。

科目区分	科目コード	科目名	主専攻		副専攻	
			指定	指定	指定	選択
リベラル キリスト アート教 ツ	RHU240J	人文学 IV（キリスト教倫理）	2			
	RHU350J	人文学 V（キリスト教哲学）	2			
	RSS230J	社会科学 III（心理学） 旧名(心理学 I)	2			2
	RSS340J	社会科学 IV（リーダーシップと組織マネジメント） 旧名(心理学 II)	2			2
キ リ ス ト 教 福 祉	SCW202J	キリスト教福祉 II（キリスト教公共福祉） 旧名(キリスト教公共福祉論)	2	2		
	SCW308J	キリスト教福祉 VIII（社会福祉概論） 旧名(社会福祉論)	2	2		
	SCW309J	キリスト教福祉 IX（ソーシャルワーク） 旧名(対人援助と問題解決法)	2			2
	SCW311J	キリスト教福祉 X（児童福祉論） 旧名(精神保健福祉論)	2			2
グ ロ ー バ ル	SGS101J	グローバル・スタディーズ I（異文化理解）	2			
	SGS202J	グローバル・スタディーズ II（グローバル・スタディーズ入門）	2			
	SGS309J	グローバル・スタディーズ IX（国際協力論）	2			
統 合	IMS340J	専門演習（キリスト教福祉）	2	2		
	IIS361J	実習A（福祉）	2			2
	IIS211J	実習A（キャリア）				2
歴 史 神 学 ・ 組 織 神 学 ・ 実 践 神 学	SPT210J	実践神学 I（宣教学）	2			
	SBS210J	聖書学 I（旧約通論）	2			
	SBS320J	聖書学 II（福音書）	2			
	SCH210J	組織神学 I（神論・人間論・キリスト論）	2			
	SCH220J	組織神学 II（救済論・教会論・終末論）	2			
	SCH230J	歴史神学 I（古代・中世）	2			
	SCH240J	歴史神学 II（宗教改革・近現代）	2			
指定科目・選択科目 単位数 計			40	6	※2	10
主専攻・副専攻 単位数 計			40	16		

※1

※1 副専攻では、実習A（福祉）もしくは実習A（キャリア）から1科目を選択すること。

※2 副専攻の全科目区分の選択科目から10単位を修得

神学教養専攻

〈教育目標〉

すべてのキリスト者が神に召された献身者であると考え、それぞれのキリストにある天職を求め、それに応えていくことを目指す。あらゆる事柄についてキリスト教独自の視点で考え、日常生活の全領域において、聖書の言葉に根ざした思想をもって行動する力を養う。

Major in Theological Studies

〈Educational goal〉

All Christians are called to serve God, and God can be served through all vocations. The aim of this major is to help students answer that calling. It equips students to consider every issue from the perspective of a Christian standpoint, and to use the Bible as the basis in thinking and in taking action in all areas of daily life.

科目区分 (大)		科目区分 (小)	選択	備考
Christian Liberal Arts	リベラルスアート 教養	人文学 / Humanities	提供科目から	
		社会科学 / Social Sciences	提供科目から	
		グレートブックス / Great Books	提供科目から	
		教会音楽 / Church Music	提供科目から	
		スポーツ / Physical Education	提供科目から	
Languages	言語	英語	提供科目から	日本語トラック生のみ
		韓国語	提供科目から	
		中国語	提供科目から	
		Japanese Language	提供科目から	English Track only
		ヘブライ語	提供科目から	
		ギリシア語	提供科目から	
Specializations	専門	聖書学 / Biblical Studies	提供科目から	
		組織神学・歴史神学 / Christian History and Tradition	提供科目から	
		実践神学 / Practical Theology	提供科目から	
		グローバル・スタディーズ / Global Studies	提供科目から	
		ユース・スタディーズ / Youth Studies	提供科目から	
		キリスト教福祉 / Christian Social Work	提供科目から	
Integrated Learning	統合	専門演習 / Major Seminar	提供科目から	専門演習 (神学教養)
		実習 / Internship	提供科目から	実習 (キャリア)
		卒業研究 / Graduation Thesis	提供科目から	
単位数 計			40以上	

※1

※1 神学部で提供される科目から40単位以上修得すること。Students should take more than 40 credits from the curriculum.

Minor in Japanese Studies Requirements

(Those who entered in August 2024 or later)

Course Category	Course Code	Course Title	Minor	Offered every other year
			Elective	
Language	LJA310E	Advanced Japanese Language and Culture (Fall)	2	
	LJA320E	Advanced Japanese Language and Culture (Winter)	2	
	LJA330E	Advanced Japanese Language and Culture (Spring)	2	
	LJA350E	Japanese Extensive Reading and Listening (Fall)	2	
	LJA360E	Japanese Extensive Reading and Listening (Winter)	2	
	LJA370E	Japanese Extensive Reading and Listening (Spring)	2	
	LJA281E	Mastering Kanji 1	1	
	LJA282E	Mastering Kanji 2	1	
	LJA283E	Mastering Kanji 3	1	
	Total from Language			6
Global Studies	SGS101E	Global Studies I: Intercultural Communication	2	
	SGS203J	グローバル・スタディーズ III (日本文化論)	3	
	SGS203E	Global Studies III: Japanese Arts and Aesthetics		
	SGS307E	Global Studies VII: Religion and Society in Japan	3	
	SGS310E	Global Studies X: Leadership, Management, and Organizational Culture in Japan (Former course name: Japan Encounters the West)	2	○
	SGS316E	Global Studies XVI: Japan Culture and Society	3	
	SGS415J	グローバル・スタディーズ XV (日本語教育)	2	○
Other	RHU230J	人文学 III (東洋思想)	2	
	RGB120E	Great Books II: Japanese Literature	2	
	SCH480J	歴史神学 VI (日本キリスト教通史)	2	
	SCH460E	Christian History and Tradition VI: Japanese Church History	2	○
	Total from Global Studies and Other			10
Total			16	

教会音楽（副）

科目区分	科目コード	科目名	副専攻		
			指定	選択	
教会音楽	RCM110J	教会音楽 I（ミュージックミニストリー）	2		
	RCM220J	教会音楽 II（教会音楽の歴史）	2		隔年開講
	RCM330J	教会音楽 III（教会音楽の実際）	2		隔年開講
	RCM140J	教会音楽 IV（クワイア1）	2		
	RCM240J	教会音楽 IV（クワイア2）	2		
	RCM340J	教会音楽 IV（クワイア3）			
	RCM440J	教会音楽 IV（クワイア4）			
	RCM150J	教会音楽 V（オルガンレッスン1）			4 ※1
	RCM250J	教会音楽 V（オルガンレッスン2）			
	RCM350J	教会音楽 V（オルガンレッスン3）			
	RCM450J	教会音楽 V（オルガンレッスン4）			
	RCM160J	教会音楽 VI（ピアノレッスン1）			4 ※1
	RCM260J	教会音楽 VI（ピアノレッスン2）			
	RCM360J	教会音楽 VI（ピアノレッスン3）			
	RCM460J	教会音楽 VI（ピアノレッスン4）			
	RCM170J	教会音楽 VII（声楽レッスン1）			4 ※1
	RCM270J	教会音楽 VII（声楽レッスン2）			
	RCM370J	教会音楽 VII（声楽レッスン3）			
	RCM470J	教会音楽 VII（声楽レッスン4）			
	RCM180J	教会音楽 VIII（ギターレッスン1）			4 ※1
RCM280J	教会音楽 VIII（ギターレッスン2）				
RCM380J	教会音楽 VIII（ギターレッスン3）				
RCM480J	教会音楽 VIII（ギターレッスン4）				
実践	SPT450J	実践神学 V（礼拝学）	2		
指定科目・選択科目 単位数 計			12	4	
単位数 計			16		

※1 選択科目（4単位）は、同一科目レッスン2ヶ年修得すること。

「ユース・プログラム主事」認証制度

(1) 「ユース・プログラム主事」とは

「ユース・プログラム主事」は、東京基督教大学神学部において、ユーススタディーズ専攻の学びを終えられた学生を対象にした、本学独自の認証資格です。聖書学および神学の学びの上に、ユース（思春期の若者）に関する心理学、教育学、社会学等の視点からの学びを積み上げ、ユースを良く理解し、彼らと良好な関係性を築くことができる学生、またユースのための様々な活動を計画・立案し、その遂行に携わることができる学生に対して、授与されるものです。

(2) 認証の要件

「ユース・プログラム主事」の認証条件は、以下の2点です。

1. 総合神学科ユース・スタディーズ主専攻で指定された要件を満たすこと
2. 認証要件の科目全体の GPA が 2.50 以上であること

(3) 認証

- ・ユース・スタディーズ専攻で認証要件を満たした学生には、卒業時に認証状を発行します。
- ・ユース・スタディーズ専攻以外を修了した者で、卒業後に必要な単位を取得し認証要件を満たした場合に、認証状を発行します。

自身が修了した主専攻と本認証制度の要件で同一科目が指定されている場合は、両方の要件としてカウントできません。下表の「選択・その他」の区分で認証要件に指定された科目を満たす必要があります。

なお、認証要件を満たしても遡ってユース・スタディーズ専攻を修了したことにはなりません。

区 分		
必修	TCU コア	TCU スタandard 等
選択	1年次指定	基礎演習 等
	専攻	卒業時に修めた主専攻の要件科目（40 単位）
	その他	上記の「 <u>選択・専攻</u> 」区分でカウントした科目 <u>以外</u>

本学大学院では、大学院在学中に学部科目も履修する事ができます。また認証要件として指定された科目のいくつかを大学院科目に振り替えることも可能です。大学院への進学を希望で認証に関心のある学生は、早めにユース・スタディーズ専攻の教員(岡村先生、徐先生)、または教務部へ相談ください。

東京基督教大学で発行される社会福祉主事任用資格の概要

(1) 社会福祉主事任用資格とは

福祉事務所の現業員として任用される者に要求される資格(任用資格)です。卒業と同時に社会福祉主事になるのではなく、福祉事務所の現業員になったときに、はじめて社会福祉主事と呼ばれます。卒業後、福祉関係の業務に携わる場合に選定の基準として考慮される場合があります。

(2) 本学における任用資格取得要件

社会福祉法 19 条 1 項に基づき「大学において厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修めて卒業した者」が取得できます。本学では、以下の指定科目から 3 科目以上を履修・単位取得した学生が取得できます。

厚労省指定科目名	本学の科目名
介護概論	キリスト教福祉 I (介護福祉) 2024 年度まで
老人福祉論	キリスト教福祉 I (高齢者福祉) 2025 年度
社会福祉概論	キリスト教福祉 VIII (社会福祉論) 2025 年度まで キリスト教福祉 VIII (社会福祉概論) 2026 年度以降
社会福祉援助技術論	キリスト教福祉 IX (ソーシャルワーク) 2025 年度以降
精神障害者保健福祉論	キリスト教福祉 X (精神保健福祉論) 2025 年度まで
児童福祉論	キリスト教福祉 X (児童福祉論) 2026 年度以降
保育理論	社会科学 I (保育学) 2025 年度まで
心理学	社会科学 III (心理学 I)*、IV (心理学 II)* 2025 年度まで 社会科学 III (心理学) 2026 年度以降

*科目が(〇〇 I)、(〇〇 II)と続きがある場合は両方を履修する必要があります。

- ・指定科目 3 科目以上に加えて、実習 A (福祉) または福祉施設で行う実習 A (キャリア) の単位取得を強く推奨します。

(3) 社会福祉に関する科目の修得証明書

社会福祉主事任用資格には、国や自治体が発行する「資格証明書」はありません。社会福祉主事任用条件を満たしているかについては、履修済科目が記載された大学の成績証明書及び卒業証明書を雇用先に提示することにより証明します。本学では、社会福祉法第 19 条第 1 号に該当する者であることを証明する「社会福祉に関する科目の修得証明書」を卒業時に一回限り発行します。要件を満たした希望者は、指定された期日までに指定された方法で申請してください。申請がなければ発行しません。また再発行はできません。

- (4) 社会福祉主事任用資格の対象は学部生です。大学院生が学部科目を履修・単位取得しても、「社会福祉に関する科目の修得証明書」を発行することはできません。

履修登録

履修計画

大学での学習は、自分の興味や関心、卒業後の進路などに応じて、自律的に行なうものです。カリキュラム構成を知り、履修指導教員と相談しながら、「何を学びたいのか、何を身につけたいのか」をよく考えて、目標に応じて1年間の履修計画を立ててください。計画を作成するにあたって、必修科目を確実に履修し、進級基準、卒業要件等を無理なく満たすように心がけてください。

履修登録

履修登録は、自らがその年度に学びを希望する科目を修得するために教務部へ届け出る手続きです。科目を履修し単位を修得するためには、履修登録を行わなければなりません。履修指導教員と相談し、その年度に履修する科目を決定し、履修登録期間内に登録の手続きを完了してください。

履修登録は学生自身がWeb上にて行います。詳細は履修ガイダンス及びTCUポータル上にある履修関係の資料で確認してください。

各学期の標準履修単位数は10単位です。（通年科目を除く）

ただし、前学期のGPAが以下の基準以上の場合は、10単位を超えて履修することができます。

前学期 GPA	春学期	秋学期	冬学期	通年	合計
3.3 以上	14 単位	14 単位	14 単位	4 単位	46 単位
2.3 以上-3.3 未満	12 単位	12 単位	12 単位	4 単位	40 単位

履修登録の流れ

- (1) 今までの単位修得状況をTCUオンラインで確認する。
- (2) 履修ガイダンスに出席する。履修指導教員等に履修について相談する。
履修に関する資料 TCUポータル>学修関係メニュー>履修ガイダンス資料
- (3) 翌年度履修する科目を決めて、履修登録期間（3月）に[Webシラバス\(履修システム\)](#)から登録する。（聴講科目は登録しない。）

聴 講

聴講は、試験の受験資格およびレポート提出の資格はなく、受講や成績の記録は残りません。

学部生が学部科目の聴講を希望する場合は、科目担当教員の許可を得てください。担当教員が聴講を許可したのち、TCU オンラインの当該科目ページが閲覧できるようになります。

一度履修登録した科目を聴講に変更する場合は、履修変更期間または履修取消(追加)期間に履修科目の取消しを行った上で、科目担当教員へ聴講希望の連絡を行ってください。履修取り消しをせずに聴講した場合、科目担当教員から聴講の許可を得ていても、その科目の成績は「F」になります。

再履修

再履修とは、成績評価を受けた科目を再度履修することです。

再履修を希望する場合、履修登録期間に指定のフォームから教務部へ連絡し、再履修科目登録料(5,000円)を納入してください。

合格の成績評価を受けた科目でも、再履修することができます。再履修した科目は、最高評価を採

用し、最高評価以外の同一科目の成績表示は「R」(再履修)とします。

同一科目を再受講する以下の場合も履修登録期間に指定フォームの提出は必要ですが、再履修科目登録料は不要です。

- ・2024年度以前に履修停止した科目を履修する。
- ・2024年度以前に聴講した科目を履修する。

履修変更

- (1) 6月(秋学期科目)と10月(冬学期科目)には履修変更期間があります。履修変更期間には履修科目の追加・取消ができます。履修変更期間中の科目追加・取消は無料です。
- (2) 各学期の授業開始から1週間は、履修科目の取消(追加)手続をすることができます。
 - ・科目の取消し(無料)
 - ・科目の追加(1科目につき履修変更手数料5,000円が必要)

※1回目の授業が休講だった場合の取消しについて
1回目の授業を受けた後に取消したい科目を教務部へ連絡してください。
連絡方法：教務部メール(kyoumuka@tci.ac.jp)
締 切：授業が行われた翌日の16:45まで
- (3) 一度履修登録した科目を聴講に変更する場合は、履修変更期間または履修取消(追加)期間に履修科目の取消しを行った上で、科目担当教員へ聴講希望の連絡を行ってください。
- (4) 指定期間外の履修変更は認められません。
- (5) 通年科目や演習科目等については下表のルールとします。

科目	履修登録	履修登録の追加	履修取消し
演習科目 (通年開講)	3月の履修登録期間	春学期の履修取消し(追加)期間 (要手数料)	秋学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)
演習科目 (春・秋開講)	3月の履修登録期間	春学期の履修取消し(追加)期間 (要手数料)	秋学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)
演習科目 (秋・冬開講)	3月または6月の 履修登録期間	秋学期の履修取消し(追加)期間 (要手数料)	冬学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)
実習科目	3月、6月、10月の 履修登録期間	学生は担当教員に相談し、 担当教員から教務部へ連絡	学生は担当教員に相談し、 担当教員から教務部へ連絡
卒業研究	3月の履修登録期間	春学期の履修取消し(追加)期間 (要手数料)	秋学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)
器楽レッスン	3月の履修登録期間	春学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)	秋または冬学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)
クワイア	3月の履修登録期間	春学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし) または初回授業で学生が担当教員 に相談し、担当教員から教務部 へ連絡(手数料なし)	秋または冬学期の履修取消し(追加)期間 (手数料なし)

履修制限

- (1) 同一時限に複数の科目を履修することはできません。
- (2) キャップ制度(履修単位数の上限)
前学期のGPAが1.70未満の場合は、翌学期の履修単位数上限が10単位(通年科目は除く)になります。(「学修のてびき」12 試験・成績「学習支援チュータリング」を参照)

(3) ミニマム制度（履修単位数の下限）

- ① 1～3年次の年間履修単位数の下限は18単位です(通年科目の単位は含みません)。継続的な履修を行なうために、この下限を超えるよう履修登録し、単位を修得しなければなりません。
- ② 各学期の習得単位数6単位未満の学生には警告が出されます。但し、休学の学期はカウントしません。

1回目の警告（習得単位数6単位未満）

履修指導担当教員または学習支援担当教職員が本人と面談します。教務部長または教務部長補佐が必要と判断した場合は、保護者または保証人との面談を実施します。

2回目の警告（2学期連続習得単位数6単位未満）：

教務部長または教務部長補佐が本人と面談します。教務部長または教務部長補佐が必要と判断した場合は、保護者または保証人への通知、面談を実施します。

3回目の警告（3学期連続習得単位数6単位未満）：

学部長が本人及び保護者または保証人と面談し、学修継続の意思があるか本人に確認します。意思がないと判断された場合は、教授会の議を経て、退学を勧告します。

4回目の警告（4学期連続習得単位数6単位未満）：

教授会の議を経て、退学処分を行います。（東京基督教大学 学則第51条により）

- ③ 4年次生に対してはこの制度は適用されません。

インディペンデントスタディ

既設の科目で扱われていないテーマについて、指導教員(原則専任教員)のもとで学生が主体的に学び、単位を取得する制度です。単位を取得しない聴講はできません。

インディペンデントスタディを希望する学生は、原則、履修希望学期の開始3ヶ月前までに指導教員に相談してください。指導教員が許可し、大学が承認した場合のみ開講されます。

開講が承認された場合、学生は履修登録期間に履修登録し、1単位20,000円、2単位以上40,000円の履修料を納入してください。複数の学生が同一のインディペンデントスタディ科目を履修する場合も、履修料は一人あたり定められた金額を納入します。

授 業

学 期

本学は3学期制です。(春学期、秋学期、冬学期)

各学期の授業開始日等については、TCUポータルにある学年暦を参照してください。

授業時間

通常1科目の授業は、毎週1コマ(70分×2)、1学期につき10回です。

科目によっては1週間に70分×2回もしくは3回行われることがあります。

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
8:40 - 9:50	9:55 - 11:05	13:00 - 14:10	14:15 - 15:25	15:45 - 16:55	17:00 - 18:10

時間割

時間割表はTCUポータル上に掲載しています。教室・時限等の変更は、TCUポータルの「お知らせ」やEメールにてお知らせします。特に学期始めには変更が多いので注意してください。

授業形態の種類

授業は以下の二種類の形態で実施します。

- (1) 対面授業
- (2) ハイブリッド授業（「どこでもTCU」対応科目のみ）

授業の受講

学部生（寮生および通学生）

授業形態にかかわらず、対面で受講(履修・聴講)してください。

・体調不良等の理由でオンライン受講を学生が希望した場合、対応する・しないを含め科目担当教員の判断にゆだねます。ただし、オンライン受講は緊急的な対応とし、長期間にわたるオンライン受講は認めません。

授業の欠席

授業科目の単位取得に必要な出席日数は、その科目の授業時間数の3分の2以上です。これに満たない場合は定期試験の受験資格またはレポート提出の資格を取得できません。授業は通常1学期に10回（20回）行いますので、7回（14回）以上出席しない場合は単位修得の資格がありません（学則第25条）。

授業を欠席する場合は、次の手続きが必要です。

- (1) TCUオンラインの受講科目ページの出欠届に入力してください。
- (2) 病気その他の理由により、欠席が3か月を越える場合は休学を願い出ることができます。（学則第15条）
- (3) その他の欠席について

学校保健安全法に定める感染症(インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等)、忌引、就職活動等による欠席の扱いは、科目担当教員が判断します。

休 講

各授業科目の担当教員にやむを得ない事情が発生した場合には、授業を休講することがあります。休講の場合は担当教員または教務部から連絡します。休講の連絡がなく、かつ授業開始時刻から30分以上経過しても担当教員が入室しない場合は自動的に休講になります。

補 講

各学期の11週目に補講の週が設定されています。補講は、休講等により講義の進行が予定より遅れた際に、授業日と同じ曜日、時間帯で行います。

教科書

教科書は各科目のシラバス、またはTCUオンラインで確認してください。

TCUオンライン>ダッシュボード>教科書一覧

教科書は各自で購入してください。TCU 生に特別割引(1割引)で書籍販売をしてくださる書店情報がTCUポータルにありますので参考にしてください。

教室の設備

- ・ プロジェクターへの接続コネクター（アダプター）は、各自で用意して下さい。
- ・ パソコン等を利用する際は原則充電のうえ持ち込んで下さい。
- ・ 机や椅子を移動させた場合は授業終了時に現状復帰して下さい。

中教室 I（TERA-Tadoku and Extensive Reading Area）の利用

中教室 I (教研棟 2 階)は、多読学習室としての機能があります。授業で使用していない時間帯は、以下のことに留意の上、積極的に利用ください。

- ・ 「持ち出し禁止」の書籍は、室内で読むこと。
- ・ 使用後は、原状復帰すること。

学生による授業評価

各学期に授業に対する評価アンケートをTCUオンラインにて実施します。更に良い授業を作り上げていくためにアンケートへの協力をお願いします。アンケートの結果については教務部へお尋ねください。

試験と成績

不正行為についての警告

不正行為には、盗用・剽窃（レポート作成において、本、論文などの出版物、インターネット上の文書、他者のレポートなど自分以外ものが書いたものを、自分の作であるかのごとく書き提出すること）、試験におけるカンニング、小テストや試験中に他の学生の解答を写す行為、不正行為が行われることを知りつつ自分のレポートを共有する行為、試験・課題・欠席等に関して虚偽の発言をすることなどが含まれます。学習における生成AI利用についての本学の方針や注意点は、「東京基督教大学学習における生成AI利用ガイドライン」で確認してください。

授業（小テストや課題、レポート、期末試験などを含む）において不正行為を行った学生は、以下のいずれかまたは複数の処分の対象となります。

- ・当該科目の単位不認定（不合格）
- ・当該学期に履修しているすべての科目の単位不認定（不合格）
- ・奨学金等の取り消し
- ・停学
- ・除籍

試験の種類

平常試験：随時授業時間内に行ないます。

定期試験：各学期末の定められた1週間に行われます。

追試験

病気、三親等内の親族(三親等の姻族を除く)の死去、電車遅延(要証明書)、災害、就職試験、裁判員制度等により、試験を受験できなかった学生で、追試験の受験を希望する場合は、科目担当教員に相談してください。科目担当教員が許可した場合、追試験を受験できます。追試験の得点は、答案採点の9割となります。ただし、科目担当教員が特別に認めた場合は10割とします。

成績

(1) 成績評価は原則として100点満点で行い、以下の基準により判定し合格の場合にのみ単位が与えられます。

① 評点区分と評価

合否 (単位)	評点	評価
合格 (単位修得)	100-95	A
	94-90	A-
	89-87	B+
	86-83	B
	82-80	B-
	79-77	C+
	76-73	C
	72-70	C-
	69-65	D+
64-60	D	
不合格 (単位修得無し)	59-0	F

② その他の表記

単位認定	再履修	履修停止 2024年度まで	聴講 2024年度まで
T	R	W	AU

- (2) 履修登録された科目は、すべて成績表に記載されます。
- (3) クリスチャン・ライフ・フォーメーションと卒業研究は、「P」(合格)又は「NP」(不合格)で評価を行います。
- (4) 他の大学、短期大学等で履修した科目、TOFEL、TOEIC、日本語能力試験などを本学の単位として認定する場合は、授業科目及び科目区分毎に単位のための認定とし、「T」(認定)と表示します。
- (5) 再履修した科目は、最高評価を採用し、最高評価以外の同一科目の成績表示は「R」(再履修)とします。

成績の公開

成績は年3回、学期終了後2週間程度からTCUオンラインで確認できます。(成績公開日は履修カレンダー参照)

成績調査願い

成績の見直しを求める場合は、成績調査申請期間に、指定の方法で教務部まで申請してください。(履修カレンダー参照)

GPA (Grade Point Average)

(1) 各学期に、全履修科目の単位当たりの成績の平均値(Grade Point Average)(以下「GPA」)を表示し、以下の計算式によって算出します。

$$\text{GPA} = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得たグレードポイント})] \text{の総和}}{\text{登録科目総単位数}}$$

(2) 科目ごとのグレードポイントは下記の通りです。ただし「P」(合格)、「NP」(不合格)、「T」(認定)、「R」(再履修)、「I」(保留)は、GPA評価の対象としません。

成績評価 (100点満点)	成績表示	1単位あたりの グレードポイント
100-95	A	4.00
94-90	A-	3.70
89-87	B+	3.30
86-83	B	3.00
82-80	B-	2.70
79-77	C+	2.30
76-73	C	2.00
72-70	C-	1.70
69-65	D+	1.30
64-60	D	1.00
59-0	F	0.00
	P/NP/T/R/I	- (カウントしない)

特別表彰 (優秀成績賞・優秀卒業研究賞)

神学部の在学期間を通じ、学業成績に優秀なる者については卒業の際、次の基準で表彰します。ただし本学での単位修得数が94単位未満の場合は、優秀成績賞の表彰対象外です。

成績基準 (目安)

	ポイント数(満点4)
<i>Summa Cum Laude</i> (最優秀成績賞)	4.00~3.80
<i>Magna Cum Laude</i> (準最優秀成績賞)	3.79~3.70
<i>Cum Laude</i> (優秀成績賞)	3.69~3.50

卒業年度において卒業研究を行った者のうち、特に優秀なものについては、教授会の承認のもと、優秀卒業研究賞が贈られます。

学習支援チュータリング

GPA が1.70 未満の学生を対象に、学生の基礎学力や学習意欲、学習方法の向上を目的として、通常授業外に学習支援を行います。

- (1) 前学期の GPA が1.70 未満で、なおかつ修学支援委員会を対象と定めた学生は、次の学期に学習支援チュータリングを受けなければなりません（必修）。
- (2) 対象学生には学期開始時に教務部より連絡があります。
- (3) 学習支援チュータリング対象者の GPA が 1.70 以上になった場合、次の学期は対象から除外されます。
- (4) 学習支援チュータリング対象となった学期の履修単位数の上限は、原則として10単位となります。
- (5) 学習支援チュータリングは、卒業要件を満たす単位としては認められません。
- (6) 学習支援チュータリング対象者からは学期あたり15,000円のチュータリング費が徴収されます。

卒業要件と学位

修業年限と在学期間

修業年限とは、本学の教育課程を修了するために必要な期間です。在学期間とは、本学において学生の身分を有することが可能な期間です。本学の修業年限は4年、在学期間は8年です（学則第5条）。休学期間は在学年数に算定されません。編入学生の在学期間は、編入の許可された年次から卒業するまでの修業年限の2倍までです。

卒業要件

所定在学年数

本学を卒業するためには、本学に4年以上在学しなければなりません(休学期間等を除く)。

所定単位の履修

所定在学年数の間に所定の科目を履修し、修得単位の合計が卒業要件を満たした者に対して卒業の資格が与えられます（学則第29条）。卒業に必要な所定の単位については、「学修のてびき」06_単位／履修単位数を参照してください。

学位

本学神学部の卒業要件を満たした者には卒業証書が授与され、学士の称号が与えられます。（学位規則第2条）

	日本語	英語
学位(専攻分野)	学士(神学)	Bachelor of Arts

早期卒業

本学では、大学学則第5条第3項の規定に基づき、早期卒業が認められています。認められる条件は以下の通りです。早期卒業を希望する者は、教務部までお問い合わせください。

1. 本学に3年以上在学すること
2. 卒業要件を満たすこと
3. 優秀な成績^(※)をもって修得したと認められること
4. 卒業後に本学大学院に進学すること
5. 再入学、転入学又は編入学ではないこと

(※) 優秀な成績の基準

卒業1年前：80単位以上修得およびGPA3.50以上

卒業時：124単位以上修得およびGPA3.80以上

学 籍

進 級

本学では学年制と単位制を併用し、2年次終了時に進級判定を行います。2年次から3年次への進級の条件は以下の通りです。

1. GPA： 1.30 以上（素点平均 65）
2. 修得単位数： 56単位

留 年

留年とは、なんらかの理由によって同一学年を繰り返すことです。休学した学生は、復学後、原級にとどまります。

休 学

病気その他やむを得ない理由により、3か月以上修学できないときは、学期単位で休学することができます。（学則第15条）

(1) 休学の手続き

休学を希望するときは、所定の休学願いにその理由を付し、保証人が連署して提出しなければなりません。病気の場合は医師の診断書が必要です。なお、事前に担任との面談を受けてください。

(2) 休学願提出期限

- 春学期の休学願：2月末日まで
- 秋学期の休学願：6月末日まで
- 冬学期の休学願：10月末日まで

(3) 休学者の学費

休学期間中の学費は、授業料の10分の1になります。施設費等は徴収しません。ただし、学期の途中で休学した場合は、その学期の授業料は全額徴収します（学則第34条）。詳細は総務部学納金担当までお問い合わせください。

(4) 休学の期間

休学の期間は休学の許可を受けた日、または命ぜられた日からその学年の最終日となる3月31日までです。ただし特別の理由があるときは、再休学の手続きをし、許可を受けて引き続き1年間休学をするか、修学の見込みの立たないときは、退学届けを提出しなければなりません（学則第16条）。年度内にいずれの手続きも取らない場合は除籍されます。休学の期間は継続して2年を超えることはできません。また休学期間は通算して3年を超えることはできません。休学期間は在学期間に算入しません。

復 学

休学期間に休学理由が解消した場合は、学年の始め、または学期の始めに復学することができます（学則第17条）。

- (1) 復学を希望するときは、指定された日までに復学願を教務部に提出してください。
- (2) 復学に要する学費等および履修方法等については教務部で確認してください。

退学・除籍

(1) 退学（学則第18条）

退学を希望するときは、所定の退学願いにその理由を付し、保証人が連署して提出しなければなりません。事前に担任との面談を受けてください。学納金は退学前に完納する必要があります。

(2) 除籍（学則第21条）

以下の事由に該当する場合は除籍になります。

- ① 学則に定める在学年限を越える者は、在学できる年限の満了日に除籍されます。
- ② 休学中の者が、定められた休学の期間を超えてもなお修学できない場合は、休学期間の満了する日に除籍されます。
- ③ 学納金の納付を怠り、督促を受けてもなお年度末までに当該年度の学納金を完納しない者は、当該年度末に除籍されます。

再入学

退学後2年以内に限り再入学を願い出ることができます。再入学を希望する場合は入学年度の前年度の12月末日までに再入学願を提出して下さい。選考の上、再入学が許可されることがあります。ただし、入学してから通算8年以内に卒業が見込まれる場合に限られます。再入学の手続き、学費、履修方法等については、教務部の指示を受けてください。

クリスチャンライフ・フォーメーション

クリスチャンライフ・フォーメーションは通年の4年間（編入生は2年間）にわたる共通科目です。本学は実践的神学教育（「建学の精神」）を重要な教育の柱とし、本学での生活全体を教育の機会と捉え、それらを通して教会と社会に仕える姿勢と実践力を兼ね備えた福音を肌で感じさせるキリスト者の育成をめざしています。

クリスチャンライフ・フォーメーションでは、霊性、学習、生活の総合的な涵養を目的とし、①大学におけるチャペル出席（コイノニア〔小グループチャペル〕を含む）、②寮生活を含む学生生活全般の主体的な取り組みと振り返り、③地域教会での主日礼拝と教会奉仕を通し、キリスト者として神と教会、そして人と社会に仕える姿勢と実践力を養うために設けられています。

学生は上記の3つの取り組みに対する自己評価（「TCUポートフォリオ」）、および教員との面談等を通して自己理解を深め、自らの将来像を意識しつつ、総合的な自己形成を行います。

チャペル

チャペルは、学びと生活の手を休めて、共に神を見上げ、意識的に霊的な養いを得るための時間です。本学におけるチャペル（コイノニア〔小グループチャペル〕を含む）は、本学での学生生活の核であり、本学の信仰共同体の中心です。本学での学びと生活を統合する中心軸として、チャペル出席を大切にしましょう。コイノニアは、学生同士また学生と教員の霊的な交流と成長を促す分かち合いの場です。毎週金曜のチャペルの時間に、学部・大学院各学年に分かれて行います。本学で共に学び生活する仲間との歩みを神様からの特別な恵みとして受け取り、みことばを中心にしつつ、より意識的に味わっていくことを目指します。

寮生活を含む学生生活

寮生活や委員会活動等を含む学生生活全体を通して、学びと生活を意識的に統合し、日常生活においてみことばに生きることを実践を目指します。「神を愛し、人を愛せよ」を学生生活全体の理念とし、宗教改革者マルティン・ルターの「キリスト者の自由」の精神に根ざし、喜んで互いに仕えあう生き方を学んでいきましょう。

教会実習

地域教会での実習を通し、教会生活全般に関する理解を深め、それぞれの賜物と習熟度に応じた実習を通して実践的な力を養っていくことを目指します。主日礼拝と祈禱会を含む教会活動を尊び、実習教会の牧師の指導のもと、積極的かつ忠実に委ねられた教会奉仕を行ってください。

TCUポートフォリオ

TCUポートフォリオとは、それぞれの学生の霊性、学習、寮生活を含む学生生活の成長の記録です。学期の区切り、年末にTCUポートフォリオの記入を行い、自らの将来像を見据えつつ、次年度の目標を立て、振り返りを行い、その目標を意識した取り組みを積み上げていきます。TCUポートフォリオの目的は、一人一人の学生の成長を可視化（見える化）するサイクルを繰り返すことで、教員からのフィードバックを受けながら、神に召された働き人としての自己を主体的に形成していくことにあります。

■ TCUポートフォリオの活用

- (1)「学生自己評価書」、「教会実習評価書」等に基づき、年度末に個人面談（又はグループ面談）を行い、クリスチャンライフ・フォーメーションの成績を評価します。
- (2)卒業予定者は、「学生自己評価書」、「卒業小論文」に基づき、年度末に個人面談を行います。そ

の結果は、卒業判定の一部として用いられます。

- (3)学修成果の記録を TCU ポートフォリオにまとめることで、大学での活動を振り返ることが容易になり、就職活動で求められる自己分析等も効果的に行えるようになります。

■ TCU ポートフォリオの入力項目

TCU オンラインにアクセスして入力します。入力項目は以下の通りです。

1. 入学時

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）と本学の養成する人材像「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」を踏まえて、入学時の目標を記載します。

2. 学期

各学期の入力は任意とし、入力する場合は以下の内容を記載します。自身の学修・生活・霊性の歩みを振り返り、成長や課題への気づきを深めるために活用してください。

- (1) 学期毎に学修、生活、霊性について目標を設定し、振り返りを行います。
- (2) 1日平均の授業外学習時間、活動時間について振り返りを行います。
- (3) 学習意欲について自己評価します。

3. 学生自己評価書

1年間を振り返り、以下の項目を記入します。

- (1) 学修、生活、霊性に影響があった活動について
- (2) ディプロマポリシー（学位授与方針）の到達度の自己評価
- (3) 寮生活/学生生活についての自己評価
- (4) 学修、生活、社会性、霊性の成長実感についての自己評価
- (5) 本学での学び、生活、霊的形成の満足度についての自己評価

4. 教会実習評価書

- (1) 年度初めに、実習計画の目標を作成します。
- (2) 年度末に、実習の自己評価を行います。
- (3) 実習の自己評価に基づき、実習教会牧師から評価をもらいます。

5. 卒業小論文

卒業予定者が以下の項目を記入します。

- (1) 建学の精神に記されているプロテスタント福音主義、超教派の理念について
- (2) 本学での学びに基づく今後のビジョン
- (3) 卒業チャペルを通して学んだこと

6. 資格・試験

- (1) 在学中に取得した資格を記入します。
- (2) 在学中に受験した英語の検定試験の点数を入力します。

7. PROG/DP 到達度

- (1) 外部評価として1年次と4年次に受験した PROG のコンピテンシーの評価をレーダーチャートで表示します。
- (2) 学生自己評価書で記入したディプロマポリシーの4年間の評価をレーダーチャートで表示します。

8. 修得科目と DP

- (1) 修得科目に関連するディプロマポリシーを一覧で表示します。

器楽等レッスンの履修

器楽レッスンは以下の科目で在学中に複数回履修が可能です。

- 「教会音楽Ⅴ (オルガンレッスン)」
- 「教会音楽Ⅵ (ピアノレッスン)」
- 「教会音楽Ⅶ (声楽レッスン)」

受講希望者は必ず、春学期はじめのオリエンテーションに参加してください。

オリエンテーションにて1年分のレッスン時間帯を決定します。各自時間割を確認して履修計画を立て、レッスンの希望時間帯を決めてから出席してください。履修希望の上級学年の学生からレッスン時間を決定し、そのあとで聴講希望者のレッスン時間を決定します。希望者が多い場合は受講できない場合があります。

オリエンテーションに参加しないとレッスン受講はできません。

履修と聴講

履 修：各レッスンは通年で2単位です。履修登録し成績がつきます。

聴 講：学期毎にレッスンを受講することです。単位は取れません。

*履修と聴講でレッスンの内容は変わりませんが、レッスン料等が異なります。

受講資格

- [オルガン・ピアノ] 初心者可、ただし鍵盤経験者が望ましい
- [声楽] 受講資格を設けない

レッスン時間

[オルガン・ピアノ] 1回20分 (各学期8回、年間24回)

[声楽] 1回40分 (各学期4回、年間12回)

レッスン料

レッスン受講には、レッスン料と楽器等使用料がかかります(全受講生)。

	レッスン料 (共通)	楽器使用料		練習室使用料
		オルガン	ピアノ	声楽
履修(年額)	45,000円	12,000円	6,000円	4,500円
履修(実習C(韓国)履修生)	30,000円	8,000円	4,000円	3,000円
聴講(1学期)	16,800円	5,000円	3,000円	1,500円

*途中でレッスン受講ができなくなった場合もレッスン料と楽器等使用料は返金しません。

*ピアノと声楽を受講する場合、楽器使用料はピアノのみ。練習室使用料は不要。

レッスン料と楽器使用料等は以下の口座へお振込みください。

ゆうちょダイレクト又はゆうちょ ATM から	ゆうちょ銀行以外の金融機関から
銀行名：ゆうちょ銀行 口座番号：00180-9-352711 口座名義：学校法人東京キリスト教学園	銀行名：ゆうちょ銀行 支店名：〇一九(ゼロイチキュウ)店 口座種別：当座 口座番号：0352711 口座名義：学校法人東京キリスト教学園

レッスン場所

- [オルガン] 大チャペル
- [ピアノ] レッスン棟アンサンブル室
- [声楽] レッスン棟アンサンブル室

*自分のレッスン時間になったらレッスン場所に入室して構いません。

学期中の練習

練習時間 平日7:00-21:00（オルガンは学期ごとに練習時間が割り振られます。）

練習場所 [ピアノ・声楽] レッスン棟練習室

[オルガン] 大チャペル、オルガンハウスのパイプオルガン

*初めてオルガンレッスンを取る学期はオルガンハウスでの練習となり大チャペルでは練習できません。

*レッスン棟練習室、大チャペル、オルガンハウスは飲食禁止です。

*楽器の周り・練習室・レッスン場所には私物を置かないでください。

*大学行事や施設貸出等で利用できない場合があります。掲示に注意して下さい。

*土曜、日曜、祝日は使用できません。

長期休暇中の音楽施設利用

レッスン受講のための楽器使用料等には長期休暇中の音楽施設利用は含まれません。夏期・春季休暇中は楽器貸出期間が設定され、事前に総務部に申込みの上、有料で利用できます。

レッスン受講上の注意

- ・必ず練習してレッスンを受講すること。
- ・無断遅刻・欠席は厳禁です。遅刻・欠席をする場合は、必ず事前に担当教員に連絡して下さい。

履修取消

春学期にレッスンを履修登録し秋学期以降に履修できなくなった場合の扱いは以下のとおりです。手続き後に聴講しない場合も、レッスン料等は返金しません。

秋学期から：履修取消(追加)期間に履修取消手続きをする。

秋学期・冬学期に聴講する場合は追加で差額を支払う。

冬学期から：履修取消(追加)期間に履修取消手続きをする。

冬学期に聴講する場合は追加で差額を支払う。

単位認定

入学前の既修得単位の認定

編入学生等、本学入学以前に大学、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程等で学んでいた学生は、単位認定を受けることができます。単位を認定された科目は、成績表に「T」と表現されます。

- (1) 編入学生には履修登録の前に単位認定科目を通知しますので、それを参考にしながら履修計画を立ててください。
- (2) 1年次入学者で、以前短期大学等に在学しており、その科目の単位認定を希望する者は、短大等の成績証明書を、**春学期の授業開始前に**教務部に提出して相談してください（入学試験の時にすでに提出している場合は必要ありません）。
- (3) 1年次入学者で、以前専修学校に在学していた場合、単位認定を許可されることがあります。希望する場合は**春学期の授業開始前に**教務部に相談してください。
- (4) 単位認定を受けられる単位数の上限は60単位です。（学則27～28条の2）。また、本学の授業科目の区分ごとに定めた卒業要件を超える場合は、超える科目の単位は認定しません。
- (5) 入学前の既修得単位の認定は、原則として**本学への（編）入学時に1度だけ行ないます**。希望する学生は春の履修登録期間中に教務部までご相談ください。その時期を過ぎた場合、原則として入学前既修得単位の認定は行いません。

英語科目の単位認定

教務部と英語科目教員の承認を得て、次の基準で英語科目の免除・単位認定を受けることができる。

<春入学生>

スコア	スコア提出時期	履修免除科目名(単位数)		認定単位数
・TOEIC:650 ・TOEFL iBT® 2026年1月21日以降実施の試験:4 2026年1月20日以前実施の試験:64 ・TOEFL iBT®:64 ・GTEC LR:260	入学時	LEN111J LEN121J LEN131J	Total English A 1 (4) Total English A 2 (4) Total English A 3 (1)	9 単位
・TOEIC:650 ・TOEFL iBT® 2026年1月21日以降実施の試験:4 2026年1月20日以前実施の試験:64 ・TOEFL iBT®:64 ・GTEC LR:260	春学期終了時	LEN121J LEN131J	Total English A 2 (4) Total English A 3 (1)	5 単位

1. TOEFL、TOEIC スコアは提出日から2年以内のもののみ有効。TOEFL iBT®は Test Date スコアに加え、MyBest™スコアも有効。なお GTEC のスコアについては、本学で実施したもののみ有効。
2. 入学後に TOEFL を受験する場合、受験時に本学の学校コード 8472 を入力すること。
3. スコアレポートは各種テストセンターから本学へ直接送付されるようにすること（GTEC 除く）。
4. 英語が母語で、英語圏で高等学校以上の教育課程を修めている場合、卒業の証明書の提出をもって Total English 1、2、3 の 9 単位分を免除とし、単位認定はしない。

5. 上記の基準以外で、海外の大学で履修した英語科目の単位認定を希望する場合、履修登録前に担当英語教員と教務部に相談すること。
6. 免除・単位認定を希望する学生はスコアを提出するまでは各授業を履修しなければならない。

留学制度

本学は米国のバイオラ大学 (*BIOLA University*) と協定校提携を結んでいます。バイオラ大学は北米最初の福音主義高等教育機関のひとつで、米国ロサンゼルス地区に位置しています。宣教師教育の長い伝統を持つ超教派の大学です。

TCU-Biola デュアルディグリー制度

本学の学生が、本学で3年、バイオラ大学で2年学び、単位互換により両大学の卒業要件を満たすことによって、両大学から学位を取得することができる制度です。卒業に要する5年の期間は学生の英語力及びバイオラ大学の必修科目開講状況によって長くなることもあります。対象は神学部日本語トラックに1年次から入学した学生です。

モデルケース 1

入学～3年目春学期

3年目夏～5年目春学期

5年目秋学期～冬学期

本学

Biola

本学

モデルケース 2

入学～2年目春学期

2年目夏～4年目春学期

4年目秋学期～5年目冬学期

*モデルケース1または2のいずれに該当するかは入学年度によって決まります。

<募集人数> 2年ごとに1名

<バイオラ大学での専攻> Major in Bible, Theology, and Ministry

<推薦要件>

モデルケース1の場合

1年次6月末までに TOEFL iBT スコア57(0-120のスコア)もしくは3.5(1-6バンドスコア)以上を提出して本制度参加の許可を受け(候補者)、2年次10月末までに TOEFL iBT スコア80(0-120のスコア)もしくは4.5(1-6バンドスコア)以上、2年次秋学期までの累計 GPA3.50以上で教授会が推薦に値すると認められた者。

モデルケース2の場合

1年次6月末までに TOEFL iBT スコア68(0-120のスコア)もしくは4(1-6バンドスコア)以上を提出して本制度参加の許可を受け(候補者)、1年次10月末までに TOEFL iBT スコア80(0-120のスコア)もしくは4.5(1-6バンドスコア)以上、1年次秋学期までの累計 GPA3.50以上で教授会が推薦に値すると認められた者。

<費用>

- ・授業料: 本学の授業料・施設費を本学に納入
- ・寮費: バイオラ大学に納入 参考 約 US\$3,385 (入る寮によって増減あり)
- ・食費: バイオラ大学に納入 参考 US\$2,800 (週12食の Meal Plan)
- ・各自負担: 往復の航空券、米国ビザ手続費用、予防接種代、海外旅行保険、事故対策保険、教科書代、休暇中の滞在費、バイオラ大学で Summer Session (5月下旬～7月下旬) または Interterm (1月) を受講する際の授業料、寮費、食費等

*寮費と食費の金額は2026-2027年度の参考金額です。留学時の金額とは異なります。

<学内担当窓口> 教務部: 森

短期交換留学制度

本学在籍中に1学期間バイオラ大学に留学する制度です。本学が学内選考を経て学生を推薦し、バイオラ大学が最終的な受入判断を下します。

<留学期間> バイオラ大学の Fall Semester (8月中旬頃－12月3週)

<募集時期> 12月に TCU ポータルによって募集 (応募締切1月上旬)

<応募資格>

本学での在学期間：1年以上

成績：累計 GPA3.50 以上

英語力: TOEFL(iBT) 80 点以上、IELTS 6.5、Duolingo 125 点以上のいずれか(2026 Fall semester)

経済支弁：US\$7,500 を保証できる保証人がいて保証内容を証明する銀行残高証明書を提出。

パスポートがあること

<募集人数>

若干名。

<費用>

授業料：本学の授業料を本学へ納入

寮費：約 US\$3,385 (入る寮によって増減あり)

食費：US\$2,800 (週12食の Meal Plan)

*バイオラ大学の寮費・食費は 2026-2027 年度のバイオラ大学の学納金(Fall Semester)を参考

*その他履修デポジット、寮デポジットの費用が掛かる可能性があります。

*TCU の秋学期及び 12 月分の寮費(退寮した場合)・食費は免除されます。

ビザ申請料・渡航費：各自負担

事故対策保険料 (約 1 万円)：本学が加入手続き。学生が保険料を本学へ納入。

海外旅行保険料 (約 13 万円)：本学が加入手続き。学生が保険料を本学へ納入。30 歳以上は増額。

<単位認定>

バイオラ大学で取得した単位は本学で単位認定可能です。希望する場合は、帰国後にバイオラ大学の成績証明書(Transcript)を教務課に提出し認定を受けてください。

<履修上の注意>

・バイオラ大学では最低 12 単位の履修が必要です。

・TCU の冬学期の授業を 3 週間受けられなくなりますので、特別に調整します。TCU の通年科目は履修できません。

<学内担当窓口>

教務部：森

教務部案内

連絡方法

教務部から学生全体への連絡は、TCUポータルまたはTCUメール通して行いますのでこまめにチェックするよう心がけてください。また、キャンパス内の本部棟1階に学生一人一人に専用のメールボックスが整備されています。自身のメールボックスを確かめ、長期間にわたる書類の放置がないように心がけてください。

事務取扱い

窓口受付時間 月～金曜日 9:00～11:20 ※ 11:20～12:50は、チャペル及びお昼体制
12:50～16:45 ※ 授業日は18:10まで緊急対応あり

取扱い事項

- ・ 授業・時間割に関すること
- ・ 履修登録に関すること
- ・ 試験及び学業成績に関すること
- ・ 入学・休学・退学・卒業等学籍に関すること
- ・ 証明書（和文・英文）の発行

証明書は教務部窓口にある所定の申請書、または[申請フォーム](#)から申し込んでください。

種類	料金
在学証明書	300円
卒業証明書	300円
卒業見込証明書	300円
成績証明書	500円
その他の証明書	800円

申請フォーム



※卒業見込証明書は学部4年次より発行可能です。

※当日発行は、料金が倍になります。

オフィスアワー制度

オフィスアワーとは、教員が原則として週1回（60分程度）研究室等において待機し、学生からの自由な質問や相談等を受けつける時間帯のことを指します。各教員のオフィスアワーについての情報はTCUポータルで確認してください。

東京基督教大学
学習における生成 AI 利用ガイドライン

1. 本学の基本的な考え方

東京基督教大学では、皆さんの学習において生成 AI を利用することを一律に禁じることはしません。社会に流通しているツールですから、学習利用の場合は、自分で思考する力を高めるために賢く用いることを奨励します。注意点を以下に示しました。受講している授業での利用については、利用の可否も含めて、科目を担当している教員の方針に従ってください。

2. 本ガイドラインが対象とする生成 AI

生成 AI とはユーザーの入力する質問（プロンプト）に対する回答を自然言語等の形式で出力するプログラムのことで、以下のようなサービスを指します。

ChatGPT、Copilot、Gemini、Claude、Stable Diffusion、Midjourney 等

3. 生成 AI 利用の注意点

- a. 授業での生成 AI の利用の可否、利用条件等は科目担当教員の指示に従うこと。
- b. 生成 AI が出力した文章を自らの考えとしてレポート等の課題に転載することは禁止する。
- c. 生成 AI の出力は間違っただけの情報を含む場合があるため、必ず真偽の判断を行うこと。
- d. 生成 AI は倫理的な問題を含む表現を出力する場合があることに注意すること。
- e. 課題の作成に生成 AI を使用した場合は、利用した旨と生成過程の提出を求められる場合がある。
- f. 生成 AI に入力した情報は機械学習に利用される場合があるため個人情報や機密情報は入力しない。
- g. 生成 AI の出力は著作物に類似する可能性があることに注意し、著作権侵害の可能性のある場合は使用しないこと。但し、授業での発表等授業の範囲内で利用することは著作権法第 35 条教育目的の利用に当たるため利用可能。

4. ガイドライン違反時の取扱い

本ガイドラインで定める生成 AI 利用の指示に違反した場合、当該行為は不正行為とみなされ、学修の手引き「不正行為についての警告」に基づき処分の対象となる場合があります。

5. ガイドラインのアップデート

生成 AI の精度は日々進歩しているため、利用に関する注意事項も変化します。本ガイドラインは 2025 年 11 月現在のものであり、適宜アップデートを行う予定です。